

(様式第 10)

長大病総第 996 号
令和 元年 10 月

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人 長崎大学長
河野

長崎大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒852-8521 長崎市文教町1-14
氏 名	国立大学法人 長崎大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

長崎大学病院

3 所在の場所

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号	電話(095)819-7200
---------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
①呼吸器内科 ②消化器内科 ③循環器内科 ④腎臓内科		
⑤神経内科 ⑥血液内科 ⑦内分泌内科 ⑧代謝内科		
⑨感染症内科 ⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科 ⑪リウマチ科		
診療実績 内分泌内科及び代謝内科については内分泌・代謝内科で対応している。 アレルギー疾患については皮膚科等で対応している。		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名		
①呼吸器外科 5血管外科	②消化器外科 ⑥心臓血管外科	3乳腺外科 7内分泌外科
		4心臓外科 ⑧小児外科
診療実績	乳腺外科及び内分泌外科については、乳腺・内分泌外科で対応している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	6泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名		
①小児歯科	②矯正歯科	3口腔外科
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1泌尿器科・腎移植外科	2形成外科	3内分泌・代謝内科	4乳腺・内分泌外科	5病理診断科
6移植外科	7脳神経内科	8胃・食道外科	9大腸・肛門外科	10肝胆膵外科・肝移植外科
11歯科口腔外科	12	13	14	15
17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
42床	2床	6床	0床	827床	877床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	600人	21人	607人	看 護 補 助 者	68人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	147人	6人	150.9人	理 学 療 法 士	23人	臨床検査技師	73人
薬 剤 師	68人	0人	68人	作 業 療 法 士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	9人	そ の 他	3人
助 産 師	40人	0人	40人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	900人	6人	904人	臨 床 工 学 士	25人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	2人	その他の技術員	52人
歯 科 衛 生 士	17人	0人	17人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	292人
管 理 栄 養 士	12人	1人	12.5人	診 療 放 射 線 技 師	46人	そ の 他 の 職 員	3人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	50人	眼 科 専 門 医	17人
外 科 専 門 医	57人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	13人
精 神 科 専 門 医	6人	放 射 線 科 専 門 医	22人
小 児 科 専 門 医	33人	脳 神 経 外 科 専 門 医	16人
皮 膚 科 専 門 医	13人	整 形 外 科 専 門 医	19人
泌 尿 器 科 専 門 医	8人	麻 酔 科 専 門 医	31人
産 婦 人 科 専 門 医	21人	救 急 科 専 門 医	10人
		合 計	316人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中尾 一彦) 任命年月日 平成 31年 4月 1日

・医療安全管理委員会 (医療安全に関する委員会) 委員長 (平成31年4月1日～継続中)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	683.6人	14.4人	698人
1日当たり平均外来患者数	1,344.94人	419.72人	1,764.66人
1日当たり平均調剤数	2,928剤		
必要医師数	153人		
必要歯科医師数	23人		
必要薬剤師数	37人		
必要(准)看護師数	408人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備	概 要		
集中治療室	405.55m ²	鉄筋コンクリート	病床数	20床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 514.15m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	50床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 136.1m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	173.7m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置3台、自動免疫分析装置1台、 自動血液ガス分析装置2台、 全自動血糖・ヘモグロビンA1c測定装置2台			
細菌検査室	185 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 光学顕微鏡2台、安全キャビネット2台、 全自動感受性装置1台、全自動培地塗布装置1台、 全自動同定装置1台、全自動血液培養装置1台			
病理検査室	343 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)電子顕微鏡、密閉式自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、局所廃棄装置切り出し台、局所廃棄装置付検体保管庫、安全キャビネット、パーチャルスライド、スマートセクション等			
病理解剖室	63.3 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)解剖台、高圧滅菌装置、ホルマリン希釈装置、臓器乾燥装置、遺体保存冷蔵庫、教育用カメラシステム等			
研究室	3,249 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)安全キャビネット、電子顕微鏡、自動血液培養装置、質量分析装置等			
講義室	第3講義室 172 m ² 第4講義室 389 m ²	鉄筋コンクリート	室数 2 室	収容定員 第3講義室 150 人 第4講義室 270 人		
図書室	142 m ²	鉄筋コンクリート	室数 1 室	蔵書数 14,400 冊程度		

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.5%	逆紹介率	54.0%
算出根拠	A: 紹介患者の数		17,166人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12,205人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,710人
	D: 初診の患者の数		22,582人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学病院 医療環境安全部 安全管理部門長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2
長谷川 ゆり	長崎大学病院 産科婦人科 講師		その他学長が必要と認めた者	(有)・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 病院ホームページで公表	

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 原発性リンパ浮腫あるいは悪性腫瘍のリンパ節郭清後のリンパ浮腫に対するリンパ管と静脈のバイパス手術			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症患者の血栓閉塞病変などにバルーンを用いて肺動脈の再開通を行う			
医療技術名	肺静脈隔離術	取扱患者数	84人
当該医療技術の概要 心房細動治療のためのカテーテルアブレーション手技			
医療技術名	ロータブレード(高速回転冠動脈アテレクトミー)による冠動脈形成術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 高度石灰化病変をロータブレードで削り、その後、バルーンやステントで冠動脈形成術を施行			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要 経カテーテル人工生体弁セットを用いて大動脈弁置換術を実施			
医療技術名	Rituximabによる抗HLA抗体陽性腎移植における脾臓摘出回避	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 Rituximab使用によりドナー特異的HLA抗体陽性腎移植における抗体関連型拒絶反応を予防し、脾臓摘出を回避する治療			
医療技術名	移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximab療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 抗ドナー特異的抗体による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対するrituximabの臨床応用			
医療技術名	歯科用金属アレルギー成分分析	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 歯科用金属アレルギーまたはその疑い患者において、口腔内の金属を除去すること無く、ごく一部を採取するのみでその成分分析を行う方法。補綴物の除去をしないで検査可能なため、患者に余分な負担をかけることなく実施可能である。また該当しない金属の不必要な除去を避けることができる。			
医療技術名	顎義歯	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 顎骨腫瘍等により生じた顎骨欠損に対し義歯で補綴を行った症例			
医療技術名	インプラント併用義歯	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 通常の義歯では維持安定が困難な義歯症例に対し歯科用インプラントを併用することにより義歯の維持安定および残存歯の保護機能改善したもの。			
医療技術名	磁性アタッチメント義歯	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 天然歯の歯根に磁性アタッチメントを応用し、残存歯根と歯槽骨の保護、義歯安定および審美性の改善を図った義歯			

医療技術名	顎運動検査	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要 顎位不安定や顎関節症など顎機能異常を有する患者において、または義歯製作前後の機能レベルに関して下顎運動解析を装置を用いて評価し補綴治療を実施した症例			
医療技術名	フレンジ・ピエゾグラフィー応用義歯	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 顎堤高度吸収により義歯の安定が得られない患者に対しニュートラルゾーン記録により安定を図った症例			
医療技術名	重症の円形脱毛症に対するステロイド点滴静注パルス療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 重症の円形脱毛症患者にステロイドの点滴静注パルス療法を行うことで、低い副作用で効果的な治療を行うことが可能である			
医療技術名	小児の円形脱毛症に対するエキシマライト治療	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 治療選択肢が少ない小児の円形脱毛症患者に対して安全に簡便に行うことができるエキシマライトによる光線治療を試みる。			
医療技術名	蜂アレルギーの減感作療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 蜂アレルギー患者において、ホリスター社のハチアレルゲンを用いて、急速減感作および維持療法を行った。ハチ2匹分のアレルゲンを皮下注射しても全身症状は惹起されず、効果が認められる。			
医療技術名	乳房外パジェット癌に対するドセタキセル療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 遠隔転移やリンパ節転移を伴う乳房外パジェット癌に対し、monthly docetaxel療法を行っている。使用例において腫瘍の縮小が認められる。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	67
2	筋萎縮性側索硬化症	16	57	特発性拡張型心筋症	63
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	34
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	10	60	再生不良性貧血	28
6	パーキンソン病	58	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	4	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	32
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	11
11	重症筋無力症	89	66	IgA腎症	31
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	17
13	多発性硬化症/視神経髄膜炎	44	68	黄色靱帯骨化症	14
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	9	69	後縦靱帯骨化症	49
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	52
17	多系統萎縮症	9	72	下垂体性ADH分泌異常症	17
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	29	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	11
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	8
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	51	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	38
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	7	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	6	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	65
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	47
31	ベスレムミオパチー	1	86	肺動脈性肺高血圧症	21
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	17
34	神経線維腫症	25	89	リンパ脈管筋腫症	8
35	天疱瘡	17	90	網膜色素変性症	6
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	7	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	49
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	25	95	自己免疫性肝炎	9
41	巨細胞性動脈炎	4	96	クローン病	131
42	結節性多発動脈炎	15	97	潰瘍性大腸炎	168
43	顕微鏡的多発血管炎	46	98	好酸球性消化管疾患	8
44	多発血管炎性肉芽腫症	23	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	9	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	34	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	4	102	ルピンシュタイン・ティピ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	267	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	89	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	128	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	61	107	若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	30	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	10	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	7	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	2
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカー・スタッフ脳幹脳炎	0	178	モフト・ウィルソン症候群	1
129	痙攣重積型(三相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	1
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アikalディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2	191	ウェルナー症候群	3
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	3

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	3	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	22
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	13	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	4	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	3	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	10	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	5	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	4
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	2
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	4
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性肝炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	6
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	3
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	6

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	2
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	7

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟 7対1)	・後発医薬品使用体制加算1
・特定機能病院入院基本料(結核病棟 7対1)	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料(精神病棟 13対1)	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算(2)
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算(1)
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・入退院支援加算(3)
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)	・入院時支援加算(入退院支援加算)
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算2)	・認知症ケア加算(1)
・看護補助加算(精神病棟 50対1)	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料1
・無菌治療室管理加算2	・救急体制充実加算1(救命救急入院料)
・緩和ケア診療加算	・高度医療体制加算(救命救急入院料)
・精神病棟入院時医学管理加算	・小児加算(救命救急入院料)
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・小児加算(特定集中治療室管理料)
・栄養サポートチーム加算	・早期離床・リハビリテーション加算(特定集中治療室管理料)
・医療安全対策加算1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・感染防止対策加算1	・新生児特定集中治療室管理料1
・感染防止対策地域連携加算(感染防止対策加算1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・抗菌薬適正使用支援加算(感染防止対策加算1)	・小児入院医療管理料2
・患者サポート体制充実加算	・プレイルーム、保育士等加算(小児入院医療管理料)
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・医療機器安全管理料1
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行期加算)	・医療機器安全管理料2
・慢性維持透析患者外来医学管理料の注3の加算 腎代替療法実績加算	・在宅療養後方支援病院
・喘息治療管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・外来緩和ケア管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・がん患者指導管理料イ	・持続血糖測定器加算
・がん患者指導管理料ロ	・造血器腫瘍遺伝子検査
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・遺伝学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・骨髓微小残存病変量測定
・糖尿病合併症管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)/抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・糖尿病透析予防指導管理料	・HPV核酸検出
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・院内トリアージ実施料	・国際標準検査管理加算
・外来放射線照射診療料	・遺伝カウンセリング加算
・ニコチン依存症管理料	・検体検査管理加算(IV)
・療養・就労両立支援指導料の注2に規定する相談体制充実加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・ハイリスク妊産婦連携指導料1	・植込型心電図検査
・ハイリスク妊産婦連携指導料2	・時間内歩行試験/シャトルウォーキングテスト
・がん治療連携計画策定料	・胎児心エコー法
・がん治療連携管理料	・皮下連続式グルコース測定
・認知症専門診断管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・神経学的検査
・排尿自立指導料	・補聴器適合検査
・薬剤管理指導料	・ヘッドアップティルト試験
・検査・画像情報提供加算/電子的診療情報評価料	・ロービジョン検査判断料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・小児食物アレルギー負荷検査	・通院・在宅精神療法 (児童思春期精神科専門管理加算)
・内服・点滴誘発試験	・精神科作業療法
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・医療保護入院等診療料
・CT撮影/MRI撮影	・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)
・冠動脈CT撮影加算	・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)
・外傷全身CT加算	・人工腎臓
・大腸CT撮影加算	・導入期加算2
・心臓MRI撮影加算	・透析液水質確保加算
・乳房MRI撮影加算	・一酸化窒素吸入療法
・小児鎮静下MRI撮影加算	・処置の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1
・頭部MRI撮影加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・画像診断管理加算3	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・無菌製剤処理料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・外来化学療法加算1	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)/脳刺激装置交換術
・(心大血管疾患リハビリテーション初期加算)	・仙骨神経刺激装置植込術/仙骨刺激装置交換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・(脳血管疾患等リハビリテーション初期加算)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・歯科口腔リハビリテーション料2	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・運動器リハビリテーション料(I)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・(運動器リハビリテーション初期加算)	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・人工中耳植込術
・(呼吸器リハビリテーション初期加算)	・人工中耳用材料
・がん患者リハビリテーション料	・人工内耳植込術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型骨導補聴器移植術/植込型骨導補聴器交換術	・植込型除細動器移植術/植込型除細動器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術/両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)/下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・補助人工心臓
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術)(腋窩郭清を伴わないもの)/乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2	・経皮的動脈遮断術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・ダメージコントロール手術
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・同種死体肺移植術	・体外衝撃波胆石破砕術
・生体部分肺移植術	・腹腔鏡下肝切除術
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)/内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術/胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)/膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・生体部分肝移植術
・内視鏡下筋層切開術	・同種死体肝移植術
・経皮的冠動脈形成術	・体外衝撃波膝石破砕術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・同種死体膵移植術
・経カテーテル大動脈弁置換術	・同種死体膵腎移植術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剝離術
・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術/ペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・植込型心電図記録計移植術/植込型心電図記録計摘出術	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・両心室ペースメーカー移植術/両心室ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下小切開腎摘出術	・麻酔管理料(I)
・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・麻酔管理料(II)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・同種死体腎移植術	・高エネルギー放射線治療
・生体腎移植術	・1回線量増加加算(全乳房照射)
・膀胱水圧拡張術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・1回線量増加加算(前立腺照射)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下仙骨腔固定術	・デジタル病理画像による病理診断
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・輸血管理料 I	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・歯科治療時医療管理料
・自己生体組織接着剤作成術	・歯科訪問診療料の注13に規定する基準
・自己クリオプレシペート作製術	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ/ロ
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・有床義歯咀嚼機能検査2のイ/ロ
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・咀嚼能力検査
・手術の休日加算1/時間外加算1/深夜加算1	・咬合圧検査
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・精密触覚機能検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

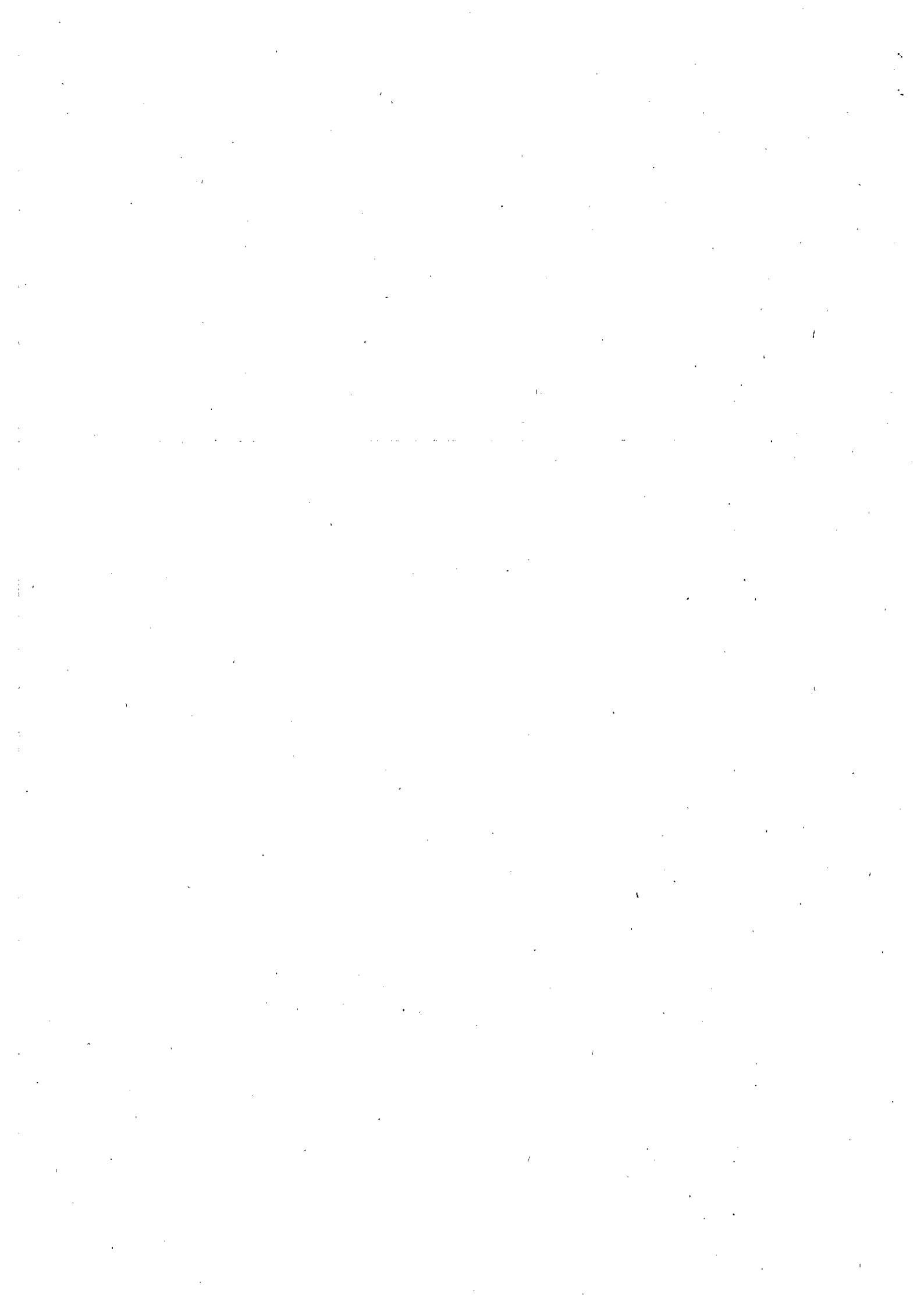
施設基準等の種類	施設基準等の種類
・食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術	・
・有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査	・
・金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	213
剖検の状況	剖検症例数 23例 / 剖検率 8%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。



(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
遺伝子搭載自己組織化ナノデバイスを応用した新規骨再生基質の開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	5,900,000	補委 日本学術振興会
異種-脱細胞組織骨格の再細胞化による、再生気管、再生肺の移植研究	土谷 智史	腫瘍外科学(第一外科)	1,900,000	補委 日本学術振興会
荷重環境下インプラント周囲の骨細胞による骨質制御機構を解明する	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	2,200,000	補委 日本学術振興会
HTLV-1による慢性炎症修飾の関連解明を目指したコホート研究	前田 隆浩	総合診療科	3,500,000	補委 日本学術振興会
光触媒機能と治癒促進機能をもつダイナミック印象応用型光重合軟質リライン材の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	2,500,000	補委 日本学術振興会
口腔健康状態は4大死因につながる生活習慣病へ影響するか? : 五島コホート研究	齋藤 俊行	口腔保健学(予防歯科)	2,700,000	補委 日本学術振興会
自己細胞を用いた人工気管による再生医療と難治性気道疾患への応用	松本 桂太郎	腫瘍外科学(第一外科)	3,800,000	補委 日本学術振興会
病因関連分子と治癒関連分子を基盤とした薬剤関連顎骨壊死の新規分子標的治療法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	3,800,000	補委 日本学術振興会
先天性風疹症候群は今後も脅威であり続けるのか? : ベトナムにおけるレッスン	森内 浩幸	小児科学	2,400,000	補委 日本学術振興会
ケニア無歯科医地域での部族間を横断した統合型口腔環境疫学データの構築と活用	福田 英輝	口腔保健学(予防歯科)	3,800,000	補委 日本学術振興会
マイクロバイオーム解析に基づく高齢者肺炎の病態解明と革新的予防法への展開	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	700,000	補委 日本学術振興会
日本列島および周辺地域における歯根数の時代的変化と系統間変異に関する研究	真鍋 義孝	顎顔面解剖学(口腔解剖学第一)	800,000	補委 日本学術振興会
心拍間隔変動パワースペクトルによる術中自律神経状態解析-外科修練の最適化へ向けて	山之内 孝彰	移植・消化器外科(第二外科)	1,000,000	補委 日本学術振興会
"パイオニア転写因子"TRF4を標的にした1型糖尿病の治療探索	阿比留 教生	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	800,000	補委 日本学術振興会
マイクロバイオーム解析による慢性肺アスペルギルス症の新規治療開発の試み	泉川 公一	感染制御教育センター	1,000,000	補委 日本学術振興会
酸素ナノバブルを使用した細胞培養および3次元構造物における新たな培養方法の開発	武岡 陽介	腫瘍外科学(第一外科)	600,000	補委 日本学術振興会
脳梗塞に対する幹細胞療法のシナプス増生のメカニズムの解明	日宇 健	脳神経外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
密閉質浸潤細胞におけるPGE2受容体を標的にした去勢抵抗性前立腺癌治療の検討	酒井 英樹	泌尿器科	1,400,000	補委 日本学術振興会
天然生理活性ペプチドのヒト歯髄由来幹細胞培養・移植による骨再生能の解析	山田 志津香	歯周歯内治療学	400,000	補委 日本学術振興会
自己組織化機能を有するヒト由来iPS細胞を用いた歯髄組織再生の具現	池田 毅	歯周歯内治療	800,000	補委 日本学術振興会
歯石によるインフラマソーム活性化機構の解明とその阻害薬を用いた歯周組織破壊の抑制	吉村 篤利	歯周歯内治療学	1,200,000	補委 日本学術振興会
血中cell-free DNAの基準範囲及び測定前変動要因の決定	宇野 直輝	病態解析・診断学(臨床検査医学)	1,000,000	補委 日本学術振興会
各種心筋症の診断および臨床像における心筋病理組織評価の有用性の検討	河野 浩章	循環器内科	700,000	補委 日本学術振興会
循環器疾患における時計遺伝子Circ/Bmal2の役割の解明	前村 浩二	循環器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
特発性間質性肺炎の病態における自己抗体の関与	迎 寛	呼吸器内科(第二内科)	900,000	補委 日本学術振興会
NETsをターゲットとした肺線維化の制御	坂本 憲徳	呼吸器内科(第二内科)	1,100,000	補委 日本学術振興会
ループス腎炎における免疫学的機序を介したボドサイトの機能解析	一瀬 邦弘	神経内科学(第一内科)	1,200,000	補委 日本学術振興会
高システロール血症における臨床的、分子遺伝学的研究	伊達木 澄人	小児科学	1,000,000	補委 日本学術振興会
抗原性を消失させた肝細胞シート移植による免疫寛容導入の試み	高槻 光寿	移植・消化器外科(第二外科)	1,300,000	補委 日本学術振興会
肺移植に対する超高密度窒素ナノバブルを使用した新たな臓器保存液の開発	郡家 聖史	腫瘍外科学(第一外科)	1,100,000	補委 日本学術振興会
初代培養細胞とin vitro血液脳関門モデルを用いたがん脳転移メカニズムの解明	氏福 健太	脳神経外科	1,400,000	補委 日本学術振興会
悪性神経膠腫浸潤開始因子の脳血液関門モデルを用いた探索	松尾 孝之	脳神経外科	600,000	補委 日本学術振興会
日本人女性における皮質骨多孔性の発生に関する研究:HR-pQCTによる横断調査	千葉 恒	整形外科	500,000	補委 日本学術振興会
臓器保護指向型鎮静法の開発:デクスメトミジンの心保護作用	原 哲也	麻酔科	1,300,000	補委 日本学術振興会

小計 34件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規糖尿病治療薬であるSGLT2阻害薬の心保護作用への影響と細胞内機序	一ノ宮 大雅	麻酔科	1,400,000	補委 日本学術振興会
胎盤機能における胎盤由来間葉系幹細胞・エクソソームの役割と臨床的意義に関する研究	三浦 清徳	産科婦人科	1,100,000	補委 日本学術振興会
異所性妊娠の鑑別診断に有用な分子マーカーの同定と臨床応用に関する研究	増崎 英明	産科婦人科	700,000	補委 日本学術振興会
Micro-graftを用いた培養操作を介さない骨再生法の確立	大場 誠悟	口腔・顎・顔面インプラントセンター	800,000	補委 日本学術振興会
歯根吸収発症における細胞内小器官分解機構を有する12/15-LOXの関与	佛坂 齊社	矯正歯科(歯科矯正学)	800,000	補委 日本学術振興会
スーパーマイクロ手術とバイオ3Dプリンティングによる、ハイブリッドリンパ浮腫治療	高木 克典	腫瘍外科学(第一外科)	1,200,000	補委 日本学術振興会
家族性肺腺癌発病機序の分子細胞学的解析に関する研究	福島 喜代康	呼吸器内科(第二内科)	2,000,000	補委 日本学術振興会
肝細胞癌に対するCDK4/6阻害薬による抗腫瘍免疫誘導の基礎検討	中尾 一彦	消化器内科	1,400,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチの関節破壊機序の解明:高解像度CTによるアプローチ	玉井 慎美	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,400,000	補委 日本学術振興会
抗CCP抗体の病的意義の研究からめざす関節リウマチの病態解明および最適化治療	岩本 直樹	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	1,300,000	補委 日本学術振興会
リアルタイム可視化アッセイによるオピオイド受容体細胞内動態解析と新規鎮痛法の開拓	村田 寛明	麻酔科	1,100,000	補委 日本学術振興会
胎児機能における羊水由来間葉系幹細胞・エクソソームの役割と臨床的意義に関する研究	三浦 生子	産科婦人科	1,500,000	補委 日本学術振興会
高解像度3D手術顕微鏡および画像オーバーレイシステムの構築	北岡 隆	眼科	2,700,000	補委 日本学術振興会
根尖に沈着したコレステロール結晶の骨吸収促進作用とシクロデキストリンによる抑制	白石 千秋	歯周歯内治療学	1,300,000	補委 日本学術振興会
インプラント埋入誘発性BP製剤関連顎骨壊死に対する革新的治療法の開発	中島 和慶	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,100,000	補委 日本学術振興会
ウイルスベクターを用いた遺伝子活性化基質による骨再生療法の創製	三浦 桂一郎	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,100,000	補委 日本学術振興会
多施設共同前向き研究による舌癌予防剤の適応決定と転移関連バイオマーカー検索	梅田 正博	口腔外科学第一	1,500,000	補委 日本学術振興会
早期発症型小児齲蝕罹患小児における口腔内細菌叢の解析と新しい疾患予防法について	佐藤 恭子	小児歯科学	2,100,000	補委 日本学術振興会
低用量ビル(エストロゲンおよびプロゲステロン)は矯正力による歯の移動を妨げるか?	藤村 裕治	矯正歯科(歯科矯正学)	1,300,000	補委 日本学術振興会
神経ペプチド・オキシトシンが破骨細胞および矯正学的歯の移動に与える影響の解明	小原 悠	矯正歯科(歯科矯正学)	1,200,000	補委 日本学術振興会
分子イメージングを用いて力と骨代謝の関係を究明し矯正力を最適化する	森田 幸子	矯正歯科(歯科矯正学)	1,400,000	補委 日本学術振興会
歯周病による動脈硬化発症におけるアディポカインとマクロファージの相互作用解析	古堅 麗子	口腔保健学(予防歯科)	1,600,000	補委 日本学術振興会
特発性肺線維症に対する革新的な分子標的治療法の開発	角川 智之	呼吸器内科(第二内科)	1,000,000	補委 日本学術振興会
バイオフィルムによるインプラント感染症撲滅への新たな戦略	野口 智恵子	整形外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
MIの理念とエビデンスに基づいたくさび状欠損への対処法の確立	久保 至誠	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	1,300,000	補委 日本学術振興会
ルテイン投与による還元型チオール増加を介した抗酸化能力の増強	大平 明弘	眼科	700,000	補委 日本学術振興会
無汗症の病態を熱中症予防戦略の確立につなげる:革新的手法による汗腺制御様式の解明	室田 浩之	皮膚科	900,000	補委 日本学術振興会
肥満外科手術マウスを用いた減量効果における視床下部NPYシステムの解析	金高 賢悟	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	補委 日本学術振興会
尿中免疫複合体の網羅的な解析結果に基づく尿路癌の新たな尿路再発予測モデルの構築	宮田 康好	泌尿器科	700,000	補委 日本学術振興会
唾液分泌促進機能を有するドライマウス義歯患者用粘膜活性口腔保湿ジェルの創製	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	900,000	補委 日本学術振興会
6自由度顎運動と生体情報の同時計測による咀嚼・嚥下制御メカニズム解明への新展開	吉田 教明	矯正歯科(歯科矯正学)	800,000	補委 日本学術振興会
新規ex vivo肺癌研究モデルとしての小型ヒト再生肺の創出	土谷 智史	腫瘍外科学(第一外科)	1,100,000	補委 日本学術振興会
骨細胞を基軸とするオートファジー誘導性優先配向制御機構の解明	澤瀬 隆	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,700,000	補委 日本学術振興会
肝毛細胆管-肝内胆管構造・機能のin vitro再構築	堺 裕輔	移植・消化器外科(第二外科)	2,500,000	補委 日本学術振興会
肝細胞-内皮細胞索状組織移植による肝小葉構造を模倣した立体ヒト肝臓の創製	堺 裕輔	移植・消化器外科(第二外科)	3,800,000	補委 日本学術振興会
インピーダンス法を用いた肝脂肪率の新規評価手法	原 貴信	移植・消化器外科(第二外科)	900,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗真菌性および易除去性を有するクリームタイプ義歯安定剤の開発	吉田 和弘	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	600,000	(補委) 日本学術振興会
胸腺上皮性腫瘍の遺伝学的背景の解明と個別化治療への応用	山口 博之	呼吸器内科(第二内科)	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
胎児機能と関連する分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	東島 愛	産科婦人科	800,000	(補委) 日本学術振興会
投与細胞の若返りを目指した脳梗塞に対する幹細胞移植投与方法の確立	山口 将	脳神経外科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
骨におけるリンと老化とオートファジーの解析	佐々木 宗輝	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
ナノサイズ骨基質と骨特異的遺伝子導入による骨再生	梅林 真由美	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
口腔癌に対するセツキシマブの治療効果を高めるための薬剤感受性制御機構の解明	鳴瀬 智史	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
舌等尺性トレーニングによる舌形態の変化が閉塞型睡眠時無呼吸の病態に及ぼす影響	坂本 由紀	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,700,000	(補委) 日本学術振興会
航空力学を応用した3次元ベクトル解析による静脈内鎖静脈の至適鎖静脈レベルの解明	讃岐 拓郎	歯科麻酔学	700,000	(補委) 日本学術振興会
歯槽骨リモデリング速度の定量化による長期的な歯の移動予測・可視化システムの開発	富永 淳也	矯正歯科(歯科矯正学)	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
抗菌薬の口腔内局所投与による食道がん術後肺炎の予防:多施設共同ランダム化比較試験	川北 晃子(宇田 晃子)	口腔腫瘍治療学(口腔外科学第一)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
認知症高齢者および高度障がい者における歯科関連ストレスの客観的指標にもとづく検証	井川 一成	歯周歯内治療	400,000	(補委) 日本学術振興会
肺炎マクロファージ免疫に着目した非結核性抗酸菌症の病原性の解明	井手 昇太郎	呼吸器内科(第二内科)	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
アパタイトをナノセラミックエアロゾルで置換する新しい歯面コーティングの基礎的研究	生駒 玲奈	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	200,000	(補委) 日本学術振興会
ボルフィロモナス・エンドドンタリスにおける菌体外ペプチド分解機構の解明	西俣 はるか	小児歯科学	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
濃縮末梢血幹細胞群とmicroRNAによる腺房細胞分化誘導システムの開発	野田 さわこ	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
異種動物由来の脱細胞化口腔粘膜基質による角化歯肉の誘導	江頭 寿洋	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
PsIGによるカンジダバイオフィルム感染症に対する新規治療法開発	高園 貴弘	呼吸器内科(第二内科)	900,000	(補委) 日本学術振興会
ブルガダ症候群研究の新展開:ゲノムによる突然死リスク予測と線維化機序の解明	石川 泰輔	分子生理学(第一生理)	2,600,000	(補委) 日本学術振興会
遺伝性皮膚疾患(GGCX症候群)における石灰化関連因子と石灰化抑制の研究	大久保 佑美	皮膚科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
皮下空洞菌球留置による慢性アスペルギルス症マウスモデルの開発	田代 将人	感染制御教育センター	700,000	(補委) 日本学術振興会
家族性肺癌における新規ドライバー遺伝子の機能解析	朝重 耕一	腫瘍外科学(第一外科)	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
母乳以外のHTLV-1母子感染経路の解明に関する研究	淵 直樹	産科婦人科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
疾患炎症細胞を共培養利用した免疫調整性抗炎症細胞群による慢性唾液腺炎の新規治療	井 隆司	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
硝子様変性と再石灰化を標的としたGSK-3β阻害による歯根吸収抑制機構の解明	有田 光太郎	矯正歯科(歯科矯正学)	2,200,000	(補委) 日本学術振興会
外傷性咬合による骨吸収への静止期破骨細胞前駆細胞の関与と血管内皮増殖因子の影響	山下 恭徳	歯周歯内治療学	800,000	(補委) 日本学術振興会
PTH製剤と機械的刺激の相乗的骨形成促進作用による低侵襲なインプラント治療の開発	稲葉 菜緒	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
骨質を基盤としたインプラント周囲炎の発症と進行メカニズムの解明	加藤 初実	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
インプラント周囲骨組織の荷重応答性カップリング因子誘発型骨質制御機構の解明	右藤 友督	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
多機能性を持ったGBRメンブレンの実験的研究	篠原 綾乃	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
十二指腸内視鏡的粘膜下層剥離術後の穿孔予防を目的とした細胞シート移植治療の開発	丸屋 安広	移植・消化器外科(第二外科)	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
神経微小環境と胆道発癌に関する機序解明と治療標的の検討	田中 貴之	移植・消化器外科(第二外科)	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
医療材料へのバイオフィルム形成を抑制する新規コーティング材の開発	吉田 衣里	腫瘍外科学(第一外科)	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
国民に広く浸透する肺炎予防のオーラルバイオフィルムを除去する新しい方法の開発	村田 比呂司	歯科補綴学(歯科補綴学第二)	91,000	(補委) 日本学術振興会
脂肪幹細胞移植による肛門機能改善に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科(第二外科)	660,000	(補委) 日本学術振興会
放射線性顎骨壊死の病態と発症リスク因子の解明に関する多施設共同研究	梅田 正博	口腔外科学第一	70,000	(補委) 日本学術振興会

小計 36件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新敗血症定義に準拠した敗血症総合検査システム構築と国内及び東南アジアへ運用展開	柳原 克紀	病態解析・診断学(臨床検査医学)	500,000	⑤補委 日本学術振興会
地域枠出身医師の進路に関するコホート研究とエビデンスに基づく政策の提案	前田 隆浩	総合診療科	50,000	⑤補委 日本学術振興会
トルコと日本の自己炎症疾患発症責任分子複合体を活性化する生体・環境因子の比較調査	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	200,000	⑤補委 日本学術振興会
越境性大気中PM2.5結合ヒトアルブミンの生体影響とその予防法の開発	尾長谷 靖	呼吸器内科(第二内科)	100,000	⑤補委 日本学術振興会
P. melaninogenicaの誤嚥性肺炎病原因子の同定と病態発症機序の解明	近藤 好夫	小児歯科学	400,000	⑤補委 日本学術振興会
口腔頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	梅田 正博	口腔外科学第一	30,000	⑤補委 日本学術振興会
自己炎症バイオマーカーによるリウマチ性疾患の新たな分類と治療法の確立	川上 純	リウマチ・膠原病内科学(第一内科)	50,000	⑤補委 日本学術振興会
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の免疫機能解析と予防治療法の展開	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	70,000	⑤補委 日本学術振興会
自己体性幹細胞の多軸的制御と可視的評価による委縮顎骨の増進治療開発	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学(口腔外科学第二)	100,000	⑤補委 日本学術振興会
筋線維芽細胞と血管内皮前駆細胞の創傷治癒作用に着目した難治性顎骨壊死の治療法開発	黒嶋 伸一郎	口腔インプラント学(歯科補綴学第一)	300,000	⑤補委 日本学術振興会
難治性呼吸器疾患に対する新規核酸医薬品の開発	佐々木 均	薬剤部	4,300,000	⑤補委 日本学術振興会
ATL発症クローンの同定・解析に基づく病因解明と個別化検査法の確立	長谷川 寛雄	検査部	3,100,000	⑤補委 日本学術振興会
セロニトランスポーター/セロニン拮抗による急性肺障害の防御機構の解明	田中 健之	感染制御教育センター	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
敗血症性ショックと小腸粘膜障害-新規治療ターゲットとしての基盤確立-	関野 元裕	集中治療部	1,000,000	⑤補委 日本学術振興会
虚血再灌流障害に対するGLP-1受容体の役割と心筋保護戦略	柴田 伊津子	麻酔科	1,200,000	⑤補委 日本学術振興会
妊娠初期の嚢胞化絨毛特異的分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	長谷川 ゆり	産科婦人科	900,000	⑤補委 日本学術振興会
可視化リアルタイム解析によるオピオイド製剤耐性形成機構解明と新規鎮痛法の開発	倉田 眞治	麻酔・生体管理室	700,000	⑤補委 日本学術振興会
咬合性外傷における骨細胞の役割の検討	鶴岡 孝	総合歯科診療部	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
歯周病が高密度リポタンパク質の量と質に及ぼす影響の解明	林田 秀明	予防歯科室	1,200,000	⑤補委 日本学術振興会
唾液の誤嚥と舌圧の関連	三串 伸哉	特殊歯科総合治療部	700,000	⑤補委 日本学術振興会
敗血症に対する電気刺激の筋蛋白分解への影響と理学療法法の探索	花田 匡利	リハビリテーション部	900,000	⑤補委 日本学術振興会
肺指向性・長期作用持続型ナノDDS製剤を基盤とした革新的肺線維症治療薬の創出	兒玉 幸修	薬剤部	1,500,000	⑤補委 日本学術振興会
細胞サイズ調節遺伝子によるワールブルグ効果の破綻を利用した肝細胞癌抑制の研究	三馬 聡	消化器内科	1,300,000	⑤補委 日本学術振興会
縦隔リンパ節好中球に着目した肺炎球菌肺炎における新しい免疫機構の解明	山本 和子	呼吸器内科(第二内科)	1,700,000	⑤補委 日本学術振興会
ADHD同胞多発家系のリスク遺伝子の同定と機能解析;発達特性の多次元評価	今村 明	精神科神経科	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
自己細胞および幹細胞を用いた人工食道作製による再生医療	谷口 大輔	腫瘍外科(第一外科)	1,100,000	⑤補委 日本学術振興会
灌流型3次元血液脳関門モデルの開発と応用	諸藤 陽一	脳神経外科	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
細胞の微細構造と拡散モデル式との相関	佐々木 美穂	歯科放射線室	900,000	⑤補委 日本学術振興会
ヒト歯髄幹細胞と感染症への可能性のない魚コラーゲンを応用した歯髄再生療法の開発	山本 耕平	歯科保存治療室	2,300,000	⑤補委 日本学術振興会
放射線性多発う蝕の発生機序の解明と予防法に関する多施設共同ランダム化比較試験	五月女 さき子	周術期口腔管理センター	1,400,000	⑤補委 日本学術振興会
個人識別に最適化する歯式マトリックスと深層学習による個人識別に関する基礎的研究	丸山 陽市	矯正歯科(歯科矯正学)	900,000	⑤補委 日本学術振興会
正確な看護業務時間測定と評価に基づく看護業務改善システムの構築と検証に関する研究	岡田 みずほ	看護部管理室	1,600,000	⑤補委 日本学術振興会
慢性肝疾患におけるフレイル予防策の解明	田浦 直太	病床管理センター	1,300,000	⑤補委 日本学術振興会
植物性ナノ粒子による非アルコール性脂肪性肝疾患に対する新規薬効成分の探索	宮明 寿光	消化器内科	1,300,000	⑤補委 日本学術振興会
エピジェネティクス(特にHDAC)がケロイド発生病態に及ぼす効果の検討	鍛塚 大	皮膚科・アレルギー科	1,300,000	⑤補委 日本学術振興会
パターン認識に基づく新たな炎症病態解析法の開発	田島 吾郎	救命救急センター	1,200,000	⑤補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
敗血症性心筋障害におけるアポトーシスの制御とGLP-1受容体の役割解明	吉富 修	麻酔科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
脳梗塞に対する細胞移植・再生医療における健常対側大脳半球の制御メカニズム解明	堀江 信貴	脳神経外科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
血液脳関門保護をターゲットとした中枢神経疾患治療薬の開発	出雲 剛	脳神経外科	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
免疫学的プロファイリングによる間質性膀胱炎の病態解明と新規診断ツールと治療法開発	松尾 朋博	泌尿器科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
腎癌幹細胞に透過周微小環境変化が与える影響の解析:新たな治療戦略の開発を目指して	大庭 康司郎	泌尿器科	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
子宮内膜症の卵巣予備能低下における細胞外基質マイクロファイブの役割に関する研究	北島 道夫	産科婦人科	1,500,000	(補委) 日本学術振興会
遠隔転移に関与するエクソソームmicroRNA解析による口腔癌治療標的分子の探索	柳本 惣市	口腔顎顔面外科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
高透光性PSZ系ジルコニアのアルミナプラスティング後の曲げ強度は熱処理で改善する	吉田 圭一	冠補綴治療室	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
人工知能(AI)を利用した顎顔面の成長予測技術の開発	古賀 義之	矯正歯科(歯科矯正学)	1,400,000	(補委) 日本学術振興会
がん化学療法誘発口腔粘膜病変に対するBlimp-1の新規機能の解明	吉松 昌子	周術期口腔管理センター	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
雲仙普賢岳噴火災害被災者における27年後の精神的問題と認知機能の関連	木下 裕久	精神科神経科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
スマートグラスを利用したバーチャル専門外来の確立と有用性の検討	辻野 彰	脳神経内科	2,100,000	(補委) 日本学術振興会
遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に関する看護職者教育プログラムの開発	松本 恵	腫瘍外科(第一外科)	700,000	(補委) 日本学術振興会
頭頸部への放射線治療に伴う口腔有害事象予防バンドルの効果とQOLの評価	川下 由美子	周術期口腔管理センター	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
ICU獲得性筋力低下に対して運動療法と栄養療法を併用する新たな治療戦略	森本 陽介	リハビリテーション部	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
低温ショック蛋白RBM3から展開する低温による炎症制御メカニズムの解明	田崎 修	救命救急センター	700,000	(補委) 日本学術振興会
肺癌術後患者における術後QOLの早期回復に向けた新しい運動プログラムの検討	及川 真人	リハビリテーション部	500,000	(補委) 日本学術振興会
羊膜を用いた低抗原性の肝細胞移植デバイスの作製	夏田 孔史	移植・消化器外科(第二外科)	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
医原性卵巣機能不全に対する妊孕性温存を目的とした卵巣組織凍結・再移植の基礎的研究	村上 直子	産科婦人科	600,000	(補委) 日本学術振興会
幹細胞分化3次元網膜様組織を用いた網膜神経節細胞の神経突起伸長に関する研究	前川 有紀	眼科	1,100,000	(補委) 日本学術振興会
持続的血液濾過透析中の早期離床は患者の予後を変えられるか?	矢野 雄大	リハビリテーション部	300,000	(補委) 日本学術振興会
頸動脈粥状硬化巣におけるリンパ管新生/血管新生アンバランスとPCSK9との関連	立石 洋平	脳神経内科	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
胎児機能と関連する分子マーカーの同定とその臨床的意義に関する研究	東島 愛	産科婦人科学	800,000	(補委) 日本学術振興会
多血小板血漿と脂肪幹細胞の放射線潰瘍治療効果の比較検討	今村 禎伸	形成外科	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
MRONJにフリーズドライ超濃縮PRPを応用した新規DDSの開発	古賀 喬夫	顎口腔再生外科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死治療の多施設共同前向き観察研究と病理組織学的病態解析	林田 咲	口腔顎顔面外科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
肺指向性ナノパーティクルPNAG-DNAワクテンによる肺感染症の発症/重症化予防	賀来 敬仁	検査部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
乳幼児のガンシクロビル治療最適化のための薬物動態解析と治療効果に関する研究	里 加代子	薬剤部	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
緩和医療でのワルファリン適正使用に向けた、鎮痛薬-ワルファリン相互作用の機序解明	石井 浩二	麻酔科	1,800,000	(補委) 日本学術振興会
EMT-MET理論に基づいた新しい創傷表皮再生への試み	小池 雄太	皮膚科・アレルギー科	1,600,000	(補委) 日本学術振興会
多発性筋炎/皮膚筋炎関連急速進行性間質性肺炎の病態におけるIL-15の役割の解明	清水 俊匡	リウマチ・膠原病内科(第一内科)	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
抗原性を消失させた膵島細胞シート移植による免疫寛容導入の試み	大野 慎一郎	移植・消化器外科(第二外科)	900,000	(補委) 日本学術振興会
消化器癌に対する遺伝子改変T細胞と多機能ヘルパーT細胞誘導ワクテン併用療法の実験	米田 晃	移植・消化器外科(第二外科)	800,000	(補委) 日本学術振興会
難治性肺疾患に対する脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた幹細胞治療の基礎研究	土肥 良一郎	腫瘍外科(第一外科)	1,300,000	(補委) 日本学術振興会
新規糖尿病治療薬であるSGLT2阻害薬の心筋保護作用への影響	江頭 崇	麻酔科	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
性差を考慮した女性特有のサルコペニアの発症メカニズムの解明と治療応用	北島 百合子	産科婦人科	2,000,000	(補委) 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パーキンソン病モデルマウスを用いた摂食・嚥下障害発症のメカニズム解明と治療戦略	吉見 知子	矯正歯科(歯科矯正学)	1,000,000	(補委) 日本学術振興会
神経微小環境と胆道発癌に関する機序解明と治療標的の検討	田中 貴之	臨床研究センター	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
羊水由来細胞を応用した組織マクロファージ再構築による萎縮唾液腺の再生	楢原 峻	顎口腔再生外科室	1,200,000	(補委) 日本学術振興会
小児がん患者の運動能力面からみた復学困難感と活動量調査	夏迫 歩美	リハビリテーション部	530,000	(補委) 日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	長谷川 寛雄	検査部	100,000	(補委) 日本学術振興会
ATLL及びB細胞性リンパ腫発症リスク評価・判定法の開発	今泉 芳孝	血液内科(原研内科)	100,000	(補委) 日本学術振興会
小脳失調を合併したランパート・イトン筋無力症候群の血液脳関門は破綻している	白石 裕一	脳神経内科	100,000	(補委) 日本学術振興会
小脳失調を合併したランパート・イトン筋無力症候群の血液脳関門は破綻している	吉村 俊祐	脳神経内科	100,000	(補委) 日本学術振興会
先端モデル動物支援プラットフォーム	二口 充	病理診断科・病理部	2,040,000	(補委) 日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	柳本 惣市	口腔顎顔面外科室	30,000	(補委) 日本学術振興会
口腔常在菌による誤嚥性肺炎発症機構の分子的解析と宿主リスク評価法	五月女 さき子	口腔顎顔面外科室	50,000	(補委) 日本学術振興会
医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	柳原 克紀	病態解析・診断学	2,605,000	(補委) 厚生労働省
じん肺エックス線写真による診断精度向上に関する研究	芦澤 和人	臨床腫瘍学	8,100,000	(補委) 厚生労働省
ロボット型内視鏡操作支援システムのAIによる高度化と各種医療機器統合インターフェースとしての展開	江口 晋	移植・消化器外科学	16,438,000	(補委) 厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科学	19,500,000	(補委) 厚生労働省
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	江口 晋	移植・消化器外科学	6,500,000	(補委) 厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	500,000	(補委) 厚生労働省
医療機関等における薬剤耐性菌の感染制御に関する研究	泉川 公一	臨床感染症学	275,000	(補委) 厚生労働省
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	江口 晋	移植・消化器外科学	200,000	(補委) 厚生労働省
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	中尾 一彦	消化器内科	200,000	(補委) 厚生労働省
HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	350,000	(補委) 厚生労働省
非感染性炎症性リンパ節・骨髄異常を示すキャッスルマン病、TAFTRO症候群その類縁疾患の診断基準、重症度分類の改正、診断・治療のガイドラインの策定に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	100,000	(補委) 厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	500,000	(補委) 厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	小池 雄太	皮膚科・アレルギー科	500,000	(補委) 厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	尾崎 誠	整形外科	100,000	(補委) 厚生労働省
HTLV-1母子感染予防に関するエビデンス創出のための研究	森内 浩幸	小児科学	600,000	(補委) 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	室田 浩之	皮膚病態学	3,710,000	(補委) 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	川崎 五郎	口腔腫瘍治療学	420,000	(補委) 厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	高山隼人	地域医療支援センター	200,000	(補委) 厚生労働省
ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	田崎修	高度救命救急センター	200,000	(補委) 厚生労働省
地域における包括的な輸血管理体制構築に関する研究	長井一浩	細胞療法部	200,000	(補委) 厚生労働省
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	上松聖典	眼科	700,000	(補委) 厚生労働省
血漿分画製剤の安定的確保・製造供給体制のあり方に関する研究	長井一浩	細胞療法部	1,000,000	(補委) 厚生労働省
HAMならびにHTLV-1陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成	松尾朋博	泌尿器科・腎移植外科	350,000	(補委) 厚生労働省
脳卒中の医療体制の整備のための研究	辻野彰	脳神経内科	150,000	(補委) 厚生労働省
真菌感染症の病態解明及び検査・治療薬の確立に関する研究	河野 茂	感染症内科(第二内科)	15,200,000	(補委) 日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
クラウド型広域調剤情報共有システムの構築と有効性・安全性の検証	前田 隆浩	総合診療学	4,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
シーズ探索研究から発展する家族性地中海熱(FMF)に対するトシリズマブの医師主導治験	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	120,770,000	補 委 日本医療研究開発機構
薬剤耐性菌対策に資する診断法・治療法等の開発研究	柳原 克紀	病態解析・診断学	17,484,000	補 委 日本医療研究開発機構
安全かつ有効な臍島細胞/間葉系幹細胞複合シートの皮下パッチ技術の開発	江口 晋	移植・消化器外科学	3,510,000	補 委 日本医療研究開発機構
侵襲性酵母感染症の病原性解明と疫学・診断法・制御法の研究	泉川 公一	臨床感染症学	1,800,000	補 委 日本医療研究開発機構
ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究	泉川 公一	臨床感染症学	1,800,000	補 委 日本医療研究開発機構
特発性間質性肺炎の診断精度向上とエビデンス創出のためのクラウド型統合データベースとインタラクティブ診断システムの開発に関する研究	福岡 順也	病理学	250,000	補 委 日本医療研究開発機構
肝硬変患者の予後を含めた実態を把握するための研究	中尾 一彦	消化器内科	420,000	補 委 日本医療研究開発機構
抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1感染・発症予防法の開発に関する研究	森内 浩幸	小児科学	650,000	補 委 日本医療研究開発機構
計算化学手法による革新的な抗体精製用RNAアプタマーの開発	石川 岳志	分子疫学	241,800	補 委 国立研究開発法人科学技術振興機構
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	阿比留 教生	リウマチ・膠原病内科学	300,000	補 委 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
動脈硬化を中心とした生活習慣病関連因子の調査・研究	前田 隆浩	総合診療学	700,000	補 委 佐々町
B型肝炎治療薬の開発	水田 賢志	分子標的医学研究センター	4,955,000	補 委 日本医療研究開発機構
実用化に向けたプリオン病に対する新規治療薬開発	石橋 大輔	感染分子解析学	700,000	補 委 日本医療研究開発機構
歯周疾患検診の実施及び評価と佐世保市の歯・口腔の健康づくりに関する研究	福田 英輝	口腔保健学	1,000,000	補 委 佐世保市
障がい児のう蝕・歯周疾患等の歯科健診及びその評価と、障がい児のう蝕・歯周疾患等の予防に関する研究	藤原 卓	小児歯科学	363,000	補 委 佐世保市
橋渡し研究:主要歯周病細菌に共通する病原因子分泌機構に対する阻害化合物の探索	佐藤 啓子	口腔病原微生物学	1,100,000	補 委 日本医療研究開発機構
Stage III 経腸栄養治療切離例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験ACHIEVE Trial (IFMC47-1202)	野中 隆	大腸・肛門外科(第一外科)	10,800	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究-ゲルベポエチンアルファ製剤低反応に関する検討-(BRIGHTEN)	西野 友哉	腎臓内科	216,000	補 委 公益財団法人 先端医療振興財団
再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究(JFMC46-1201)	小林 和真	肝胆膵外科・肝移植外科(第二外科)	64,800	補 委 公益財団法人がん集学的治療研究財団
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究J-DOIT3(追跡)	小出 優史	医療教育開発センター(医科)	300,000	補 委 公益財団法人 日本糖尿病財団
既治療の進行・再発非小細胞肺癌を対象としたニボルマブ治療における、効果と至適投与期間予測に関する観察研究	山口 博之	呼吸器内科学	129,600	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験(略称ATIS-NVAF)	立石 洋平	脳神経内科	21,600	補 委 国立循環器病研究センター
エストロゲンレセプター陽性再発乳癌を対象としたエベロリムスしう症例における口内炎予防のための歯科介入無作為化第Ⅲ相試験(研究略称名: Oral Care-BC)	江口 晋	移植・消化器外科学	64,800	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR前向き研究): Japan Acute Myocardial Infarction Registry	前村 浩二	循環器内科学	275,400	補 委 公益財団法人循環器病研究振興財団
前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究	酒井 英樹	泌尿器科学	86,000	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
エストロゲンレセプター陽性再発乳癌を対象としたエベロリムスしう症例における口内炎予防のための歯科介入無作為化第Ⅲ相試験(研究略称名: Oral Care-BC)	梅田 正博	口腔腫瘍治療学	43,200	補 委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
骨粗鬆症発症メカニズムの解明と創薬開発への試み	伊東 昌子	メディカル・ワークライフバランスセンター	1,500,000	補 委 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
難治性疾患実用化研究事業	里 龍晴	小児科	100,000	補 委 独立行政法人 国立病院機構 まつもと医療センター
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究	吉浦 孝一郎	ゲノム機能解析	10,400,000	補 委 日本医療研究開発機構
病理医不足を解決するWSIを用いた医療チームによるMedical Artsの創成研究	福岡 順也	病理診断科・病理部	6,000,000	補 委 日本医療研究開発機構
難治性唾液腺萎縮症に対する高機能細胞治療薬E-MNCに関する臨床研究	朝比奈 泉	顎口腔再生外科学	34,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
診療連携・国際連携をも視野にいれた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究	西野 友哉	腎臓内科	390,000	補 委 日本医療研究開発機構
急性型およびリンパ腫型成人T細胞白血病に対する標準治療としての同種造血幹細胞移植法の確立	澤山 靖	血液内科	494,000	補 委 日本医療研究開発機構
難治性食道がんの治療方針決定に資する技術開発に関する研究	松島 加代子	医療教育開発センター(医科)	195,000	補 委 日本医療研究開発機構
臨床試験と全国患者実態把握によるindolentATLに対する標準治療の開発研究	今泉 芳孝	血液内科	310,000	補 委 日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発症時刻不明の急性期脳梗塞に対する適正な血栓溶解療法の推進を目指す研究	辻野 彰	脳神経内科	150,000	補 委 日本医療研究開発機構
家族性地中海熱(FMF)インフラマソームシグナル伝達異常をゲノム創薬で解決する開発研究	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	27,502,212	補 委 日本医療研究開発機構
HAM・HTLV-1陽性難治性疾患の診療ガイドラインに資する統合的レジストリの構築によるエビデンスの創出	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	975,000	補 委 日本医療研究開発機構
ヒトとウイルスのゲノム情報と臨床情報の統合によるHTLV-1関連疾患の診療支援全国ネットワークの確立	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	2,700,000	補 委 日本医療研究開発機構
HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究	長谷川 寛雄	検査部	1,400,000	補 委 日本医療研究開発機構
母子感染に対する母子保健体制構築と医療開発技術のための研究	森内 浩幸	小児科学	1,690,000	補 委 日本医療研究開発機構
原因診断に基づく小児難聴の治療・療育システム構築に関する研究	高橋 晴雄	耳鼻咽喉科	500,000	補 委 日本医療研究開発機構
多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立	江口 晋	移植・消化器外科学	200,000	補 委 日本医療研究開発機構
関節エコーによる関節リウマチ診療の最適化・標準化	川上 純	リウマチ・膠原病内科学	1,800,000	補 委 日本医療研究開発機構
HTLV-1の疫学研究及び総合対策に資する研究	三浦 清徳	産科婦人科学	2,500,000	補 委 日本医療研究開発機構
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験研究	芦澤 和人	臨床腫瘍学	260,000	補 委 日本医療研究開発機構
がん領域における臨床ゲノム情報データストレージの整備に関する研究	宮崎 泰司	ヒパクシヤ医療センター	1,040,000	補 委 日本医療研究開発機構
骨髄異形成症候群(MDS)のオミックス解析による治療反応性および病型進展の新たなバイオマーカーの同定とその実用化に関する研究	宮崎 泰司	ヒパクシヤ医療センター	950,000	補 委 日本医療研究開発機構
AYA世代急性リンパ性白血病の小児型治療法および遺伝子パネル診断による層別化治療に関する研究	宮崎 泰司	ヒパクシヤ医療センター	2,210,000	補 委 日本医療研究開発機構
TP53遺伝子変異陽性骨髄異形成症候群に対する新規治療戦略	宮崎 泰司	ヒパクシヤ医療センター	910,000	補 委 日本医療研究開発機構
体腔内異物検出アプリケーションソフトウェアの開発	大野 慎一郎	肝胆膵外科・肝移植外科(第二外科)	750,000	補 委 日本医療研究開発機構

小計 16件
計 266件

- (注)
- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 - 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
 - 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Sakamoto J, Manabe Y, Oyamada J 他	医療技術部	Anatomical study of the articular branches innervated the hip and knee joint with reference to mechanism of referral pain in hip joint disease patients	Clin Anat. 2018 Jul ; 31(5) : 705-709.	Original Article
2	Kiriishi K, Doi H, Magata N 他	特殊歯科総合治療部	Occlusal force predicts global motion coherence threshold in adolescent boys	BMC Pediatr. 2018 Oct 18 ; 18(1) : 331.(オンライン)	Original Article
3	Yamanashi H, Koyamatsu J, Nagayoshi M 他	総合診療科	Screening Validity of Arterial Pressure-Volume Index and Arterial Velocity-Pulse Index for Preclinical Atherosclerosis in Japanese Community-Dwelling Adults: the Nagasaki Islands Study	J Atheroscler Thromb. 2018 Sep 1 ; 25(9) : 792-798.	Original Article
4	Yamanashi H, Koyamatsu J, Nagayoshi M 他	総合診療科	Human T-Cell Leukemia Virus-1 Infection Is Associated With Atherosclerosis as Measured by Carotid Intima-Media Thickness in Japanese Community-Dwelling Older People	Clin Infect Dis. 2018 Jul 2 ; 67(2) : 291-294.	Original Article
5	Yamanashi H, Kulkarni B, Edwards T 他	総合診療科	Association between atherosclerosis and handgrip strength in non-hypertensive populations in India and Japan	Geriatr Gerontol Int. 2018 Jul ; 18(7) : 1071-1078.	Original Article
6	Endo Y, Koga T, Eguchi M 他	リウマチ・膠原病内科	Utility of power Doppler ultrasonography for detecting forefoot bursae in early rheumatoid arthritis: A case report	Medicine (Baltimore). 2018 Dec ; 97(51) : e13295.(オンライン)	Case Reports
7	Endo Y, Koga T, Ishida M 他	リウマチ・膠原病内科	Musculoskeletal manifestations occur predominantly in patients with later-onset familial Mediterranean fever: Data from a multicenter, prospective national cohort study in Japan	Arthritis Res Ther. 2018 Nov 20 ; 20(1) : 257.(オンライン)	Original Article
8	Koga T, Matoba M, Sato T 他	医療教育開発センター	Evaluation of circulating invariant T cells before and after IL-17 inhibitor treatment in a patient with psoriatic arthritis	Clin Immunol. 2018 Dec ; 197 : 107-109.	Letter
9	Hara K, Endo Y, Ishida M 他	リウマチ・膠原病内科	Subclinical inflammation in a case of menstruation-induced familial Mediterranean fever: A case report	Medicine (Baltimore). 2018 Sep ; 97(38) : e12305.(オンライン)	Case Reports
10	Shimizu T, Iwamoto N, Okamoto M 他	臨床研究センター	Scleroderma Renal Crisis Complicated with Thrombotic Microangiopathy Triggered by Influenza B Virus Infection	Intern Med. 2019 Feb 1 ; 58(3) : 441-445.	Case Reports
11	Endo Y, Koga T, Ishida M 他	リウマチ・膠原病内科	Recurrence of anti-MDA5 antibody-positive clinically amyopathic dermatomyositis after long-term remission: A case report	Medicine (Baltimore). 2018 Jun ; 97(26) : e11024.(オンライン)	Case Reports
12	Koga T, Umeda M, Endo Y 他	医療教育開発センター	Effect of a gonadotropin-releasing hormone analog for ovarian function preservation after intravenous cyclophosphamide therapy in systemic lupus erythematosus patients: a retrospective inception cohort study	Int J Rheum Dis. 2018 Jun ; 21(6) : 1287-1292..	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
13	Endo Y, Koga T, Suzuki T 他	リウマチ・膠原病内科	Successful treatment of plasma exchange for rapidly progressive interstitial lung disease with anti-MDA5 antibody-positive dermatomyositis: A case report	Medicine (Baltimore). 2018 Apr ; 97(15) : e0436.(オンライン)	Case Reports
14	Endo Y, Koga T, Ishida M 他	リウマチ・膠原病内科	Rituximab-induced Acute Thrombocytopenia in Granulomatosis with Polyangiitis	Intern Med. 2018 Aug 1 ; 57(15) : 2247-2250.	Case Reports
15	Horie I, Haraguchi A, Sako A 他	内分泌・代謝内科	Predictive factors of efficacy of combination therapy with basal insulin and liraglutide in type 2 diabetes when switched from longstanding basal-bolus insulin: Association between the responses of beta- and alpha-cells to GLP-1 stimulation and the glycaemic control at 6months after switching therapy	Diabetes Res Clin Pract. 2018 Oct ; 144 : 161-170.	Original Article
16	Sasamura A, Akazawa S, Haraguchi A 他	生活習慣病予防診療部	Late-onsetCerebrotendinous Xanthomatosis with a Novel Mutation in the CYP27A1 Gene	Intern Med. 2018 Jun 1 ; 57(11) : 1611-1616.	Case Reports
17	Nakamura H, Hasogawa H, Sasaki D 他	リウマチ・膠原病内科	Detection of human T lymphotropic virus type-1 bZIP factor and tax in the salivary glands of Sjogren's syndrome patients	Clin Exp Rheumatol. 2018 May-Jun ; 36 Suppl 112(3) : 51-60.	Original Article
18	Ito A, Nozaki A, Horie J 他	内分泌・代謝内科	Relation between change in treatment for central diabetes insipidus and body weight loss	Minerva Endocrinol. 2019 Mar ; 44(1) : 85-90.	Original Article
19	Horie I, Abiru N, Eto M 他	内分泌・代謝内科	Sex differences in insulin and glucagon responses for glucose homeostasis in young healthy Japanese adults	J Diabetes Investig. 2018 Nov ; 9(6) : 1283-1287.	Original Article
20	Umetsu A, Shimizu T, Iwamoto N 他	リウマチ・膠原病内科	Paraneoplastic Syndrome Presenting with Polymyalgia Rheumatica-like Accumulations on (18)F-fluorodeoxyglucose-Positron Emission Tomography/Computed Tomography	Intern Med. 2019 Mar 15 ; 58(6) : 861-864.	Case report
21	Ozasa M, Ichikawa H, Sato S 他	医療教育開発センター(医科)	Proposed method of histological separation between connective tissue disease-associated interstitial pneumonia and idiopathic interstitial pneumonias	PloS one. 2018 Nov 5 ; 13(11) : e0206186.(オンライン)	Original Article
22	Nakamura H, Horai Y, Shimizu T 他	リウマチ・膠原病内科	Modulation of Apoptosis by Cytotoxic Mediators and Cell-Survival Molecules in Sjogren's Syndrome	Int J Mol Sci. 2018 Aug 11 ; 19(8).(オンライン)	Review
23	Hirayama T, Miyazaki T, Yamagishi Y 他	呼吸器内科	Clinical and Microbiological Characteristics of Candida guilliermondii and Candida fermentati	Antimicrob Agents Chemother. 2018 May 25 ; 62(6).(オンライン)	Original Article
24	Sakamoto H, Itonaga H, Sawayama Y 他	血液内科	Primary Oral Mucormycosis Due to Rhizopus microsporus after Allogeneic Stem Cell Transplantation	Intern Med. 2018 Sep ; 57(17) : 2567-2571.	Original Article
25	Kawamoto Y, Kosai K, Yamakawa H 他	検査部	Performance evaluation of the MALDI Biotyper Selective Testing of Antibiotic Resistance-β-Lactamase (MBT STAR-BL) assay for the detection of IMP metallo-β-lactamase activity in Enterobacteriaceae	Diagn Microbiol Infect Dis. 2018 Dec ; 92(4) : 275-278.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
26	Motokawa N, Miyazaki T, Hara A 他	呼吸器内科	Pulmonary Scedosporium apiospermum Infection with Pulmonary Tumorlet in an Immunocompetent Patient	Intern Med. 2018 Dec 1 ; 57(23) : 3485-3490.	Original Article
27	Takazono T, Izumikawa K	呼吸器内科	Recent Advances in Diagnosing Chronic Pulmonary Aspergillosis	Front Microbiol. 2018 Aug 17 ; 9 : 1810.(オンライン)	Review
28	Fukuda M, Yamaguchi H, Mukae H 他	がん診療センター	Programmed death ligand-1 inhibitors potentially carry a lower risk of pneumonitis compared with programmed death-1 inhibitors in patients with non-small cell lung cancer	J Thoracic Dis. 2018 Nov ; 10(Suppl 33) : S4082-S4084.	Review
29	Sasaki R, Taura N, Miyazoo Y 他	消化器内科	Ketone bodies as a predictor of prognosis of hepatocellular carcinoma after transcatheter arterial chemoembolization	Nutrition. 2018 Jun ; 50 : 97-103.	Original Article
30	Miuma S, Miyaaki H, Soyama A 他	消化器内科	Utilization and efficacy of elbasvir/grazoprevir for treating hepatitis C virus infection after liver transplantation	Hepato Res. 2018 Nov ; 48(12) : 1045-1054.	Original Article
31	Etoh R, Ishimatsu T, Kawano H 他	循環器内科	Successful treatment for various arrhythmias in an older patient treated with pilsicainide for paroxysmal supraventricular tachycardia	Geriatr Gerontol Int. 2018 Oct ; 18(10) : 1520-1521.	Original Article
32	Kawano H, Yamasa T, Arakawa S 他	循環器内科	We need more useful surrogate markers for the efficacy of beta-blockers for the treatment of Takotsubo cardiomyopathy	Geriatr Gerontol Int. 2018 May ; 18(5) : 817-818.	Original Article
33	Tomichi Y, Kawano H, Mukaino A 他	検査部	Postural Orthostatic Tachycardia in a patient with type 2 diabetes with diabetic neuropathy	Int Heart J. 2018 Nov 28 ; 59(6) : 1488-1490.	Case report
34	Yamagata Y, Ikeda S, Nakata T 他	循環器内科	Balloon pulmonary angioplasty is effective for treating peripheral-type chronic thromboembolic pulmonary hypertension in elderly patients	Geriatr Gerontol Int. 2018 May ; 18(5) : 678-684.	Original Article
35	Shirakawa T, Nakashima Y, Watanabe S 他	小児科	A novel heterozygous GLI2 mutation in a patient with congenital urethral stricture and renal hypoplasia/dysplasia leading to end-stage renal failure	CEN Case Reports. 2018 May ; 7(1) : 94-97.	Original Article
36	Kirino T, Funakoshi Y, Miyata Ni 他	小児科	Synovial sarcoma of the left forearm in a neonate	Pediatr Int. 2018 Jun ; 60(6) : 604-605.	Case report
37	Hayashi M, Nishiyama I, Moriuchi M 他	小児科	A Twenty-Year Retrospective Diagnosis of Congenital Cytomegalovirus Infection	Pediatr Neurol. 2018 Sep ; 86 : 71-72.	Case report
38	Sato T, Kato M, Moriyama 他	小児科	A case of tubulinopathy presenting with porencephaly caused by a novel missense mutation in the TUBA1A gene	Brain Dev. 2018 Oct ; 40(9) : 819-823.	Case report

小計31

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
39	Miyazaki T, Yamasaki N, Tsuchiya T 他	呼吸器外科	Is Pleurectomy/Decortication Superior to Extrapleural Pneumonectomy for Patients with Malignant Pleural Mesothelioma? A Single-Institutional Experience	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Apr 20 ; 24(2) : 81-88.	Original Article
40	Miyazaki T, Sato S, Kondo T 他	呼吸器外科	National survey of de novo malignancy after solid organ transplantation in Japan	Surg Today. 2018 Jun ; 48(6) : 618-624.	Original Article
41	Miyazaki T, Callister MEJ, Franks K 他	呼吸器外科	Minute ventilation-to-carbon dioxide slope is associated with postoperative survival after anatomical lung resection	Lung Cancer. 2018 Nov ; 125 : 218-222.	Original Article
42	Otsubo R, Hirakawa H, Oikawa M 他	乳腺・内分泌外科	Validation of a Novel Diagnostic Kit Using the Semidry Dot-Blot Method to Detect Metastatic Lymph Nodes in Breast Cancer: Distinguishing Macrometastases From Nonmacrometastases	Clinical Breast Cancer. 2018 Jun ; 18(3) : e345-e351.	Original Article
43	Hatachi G, Miyazaki T, Obata T 他	呼吸器外科	Successful resection to treat idiopathic azygos vein aneurysm	Asian J Endosc Surg. 2018 Nov ; 11(4) : 392-394.	Case report
44	Taniguchi D, Matsumoto K, Tsuchiya T 他	呼吸器外科	Scaffold-free trachea regeneration by tissue engineering with bio-3D printing	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 May 1 ; 26(5) : 745-752.	Original Article
45	Hanada M, Kanetaka K, Hidaka S 他	リハビリテーション部	Effect of early mobilization on postoperative pulmonary complications in patients undergoing video-assisted thoracoscopic surgery on the esophagus	Esophagus. 2018 Apr ; 15(2) : 69-74.	Original Article
46	Kuba S, Maeda S, Matsumoto M 他	乳腺・内分泌外科	Adherence to Adjuvant Endocrine Therapy in Women With Breast Cancer: A Prospective Observational Study in Japanese Women	Clinical Breast Cancer. 2018 Apr ; 18(2) : 150-166.	Original Article
47	Kuba S, Fujiyama R, Yamanouchi K 他	乳腺・内分泌外科	Awareness of dysgeusia and gustatory tests in patients undergoing chemotherapy for breast cancer	Supportive Care in Cancer. 2018 Nov ; 26(11) : 3883-3889.	Original Article
48	Matsumoto K, Sato S, Okumura M 他	呼吸器外科	Frequency of cerebral infarction after pulmonary resection: a multicenter, retrospective study in Japan	Surg Today. 2018 May ; 48(5) : 571-572.	Letter
49	Imamura H, Adachi T, Kin T 他	胃・食道外科	An engineered cell sheet composed of human islets and human fibroblast, bone marrow-derived mesenchymal stem cells, or adipose-derived mesenchymal stem cells: An in vitro comparison study	Islets. 2018 May 4 ; 10(3) : e1445948.(オンライン)	Original Article
50	Kanetaka K, Kobayashi S, Eguchi S	胃・食道外科	Regenerative medicine for the esophagus	Surg Today. 2018 Aug ; 48(8) : 739-747.	Review
51	Matsubayashi S, Tsujimoto R, Osaki M	リハビリテーション部	A case of excessive femoral anteversion which caused instability of the medial collateral ligament of the knee joint	Ann. Med. Surg (Lond). 2018 Aug 27 ; 34 : 17-22.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
52	Kidera K, Yonekura K, Miyaji T 他	整形外科	Double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction improves tibial rotational instability: analysis of squatting motion using a 2D/3D registration technique	J. Orthop. Surg. Res. 2018 May 16 ; 13(1) : 111.(オンライン)	Original Article
53	Chiba K, Okazaki N, Kurogi A 他	整形外科	Precision of Second-Generation High-Resolution Peripheral Quantitative Computed Tomography: Intra- and Intertester Reproducibilities and Factors Involved in the Reproducibility of Cortical Porosity	J. Clin. Densitom. 2018 Apr - Jun ; 21(2) : 295-302.	Original Article
54	Koike Y, Yozaki M, Kuwatsuka Y 他	皮膚科・アレルギー科	Epithelial-mesenchymal transition in Bowen's disease when arising de novo and acquiring invasive capacity	J Dermatol. 2018 Jun ; 45(6) : 748-750.	Case report
55	Kuwatsuka S, Koike Y, Asai M 他	皮膚科・アレルギー科	Numerous plasmacytoid dendritic cell infiltration in HIV-associated psoriasis relieved only with antiretroviral therapy	J Dermatol. 2018 Sep ; 45(9) : 1126-1129.	Case report
56	Murota H, Yamaga K, Ono E 他	皮膚科・アレルギー科	Sweat in the pathogenesis of atopic dermatitis	Allergoi Int. 2018 Oct ; 67(4) : 455-459.	Review
57	Ohba K, Miyata Y, Yasuda T 他	泌尿器科・腎移植外科	Efficacy and safety of sunitinib alternate day regimen in patients with metastatic renal cell carcinoma in Japan: Comparison with standard 4/2 schedule	Asia Pac J Clin Oncol. 2018 Jun ; 14(3) : 153-158.	Original Article
58	Nakanishi H, Miyata Y, Mochizuki Y 他	泌尿器科・腎移植外科	Pathological significance and prognostic roles of densities of CD57+ cells, CD68+ cells, and mast cells, and their ratios in clear cell renal cell carcinoma	Hum Pathol 79. 2018 Sep ; 79 : 102-108.	Original Article
59	Hakariya T, Shida Y, Tsurusaki T 他	泌尿器科・腎移植外科	Influence of prior oral ethinylestradiol use on the efficacy of enzalutamide for the treatment of castration-resistant prostate cancer in men	Int J Urol. 2018 May ; 25(5) : 464-470.	Original Article
60	Miyata Y, Sakai H	泌尿器科・腎移植外科	Anti-Cancer and Protective Effects of Royal Jelly for Therapy-Induced Toxicities in Malignancies	Int J Mol Sci. 2018 Oct 21 ; 19(10).(オンライン)	Review
61	Miyata Y, Matsuo T, Araki K 他	泌尿器科・腎移植外科	Anticancer Effects of Green Tea and the Underlying Molecular Mechanisms in Bladder Cancer	Medicines (Basel). 2018 Aug 10 ; 5(3).(オンライン)	Review
62	Tsuiki E, Suzuma K, Matsumoto M 他	眼科	Oral kallidinogenase improved visual acuity and maintained choriorretinal blood flow levels after treatment for diabetic macular edema	Clin Ophthalmol. 2018 Sep 21 ; 12 : 1845-1852.	Original Article
63	Watanabe T, Uematsu M, Mohamed YH 他	眼科	Corneal Erosion With Pigments Derived From a Cosmetic	Contact Lens : A Case Report. 2018 Sep ; 44 Suppl 1 : S322-S325.	Case report
64	Harada K, Mohamed YH, Uematsu M 他	眼科	Three cases of acute sterile corneal melt after cataract surgery	Am J Ophthalmol Case Report. 2018 Dec 4 ; 13 : 62-65.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
65	Watanabe T, Yoshida H, Kishibe K 他	耳鼻咽喉科	Cochlear implantation in patients with bilateral deafness caused by otitis media with ANCA-associated vasculitis (OMAAV): A report of four cases.	Auris Nasus Larynx. 2018 Oct ; 45(5) : 922-928.	Case report
66	Sueyoshi E, Koike H, Sakamoto I 他	放射線科	Successful treatment of hemoptysis caused by a type 2 endoleak after thoracic endovascular aortic repair	CVIR Endovasc. 2018 Oct ; 1(1) : 10.(オンライン)	Original Article
67	Ideguchi R, Yoshida K, Ohtsuru A 他	ヒバクシヤ医療センター	The present state of radiation exposure from pediatric CT examinations in Japan-what do we have to do?	J Radiat Res. 2018 Apr 1 ; 59(suppl_2) : ii130-ii136.	Original Article
68	Ishimaru H, Morikawa M, Sakugawa T 他	放射線科	Cerebral lipiodol embolism related to a vascular lake during chemoembolization in hepatocellular carcinoma: A case report and review of the literature World	J Gastroenterology. 2018 Oct 7 ; 24(37) : 4291-4296.	Case report
69	Ishii K, Miyoshi H, Akiyama D 他	麻酔科	Anesthetic management of patients with systemic mastocytosis	J Clin Anesth. 2018 Nov ; 50 : Page 61.	Case report
70	Sekino M, Funaoka H, Sato S 他	集中治療部	Association Between Macroscopic Tongue Ischemia and Enterocyte Injury and Poor Outcome in Patients with Septic Shock: A Preliminary Observational Study	Shock. 2018 Nov ; 50(5) : 530-537.	Original Article
71	Morimoto Y, Sekino M, Eishi K 他	リハビリテーション部	Recovery of muscle weakness and physical function in a patient with severe ICU-acquired weakness following pulmonary embolism: A case report	Clin Case Rep. 2018 May 8 ; 6(7) : 1214-1218.	Case report
72	Matsunaga Y, Izumo T, Morofuji Y 他	脳神経外科	Revascularization for Aplastic or Twiglike Middle Cerebral Artery: A Case Report	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2018 May ; 27(5) : e78-e79.	Case report
73	Eishi K, Miura T, Matsumaru I 他	心臓血管外科	Spiral suspension, a novel repair technique for severe functional tricuspid regurgitation	J Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Aug ; 156(2) : 649-652.	Original Article
74	Yanagihara K, Akamatsu N, Matsuda J 他	検査部	Susceptibility of Clostridium species isolated in Japan to fidaxomicin and its major metabolite OP-1118	J Infect Chemother. 2018 Jun ; 24(6) : 492-495.	Original Article
75	Nishimura F, Morinaga Y, Akamatsu N 他	医療技術部	Plasmid-Mediated AmpC β -Lactamase and Underestimation of Extended-Spectrum β -Lactamase in Cefepime-Susceptible Elevated-Ceftazidime-MIC Enterobacteriaceae Isolates	Jpn J Infect Dis. 2018 Jul 24 ; 71(4) : 281-285.	Original Article
76	Kaku N, Hashiguchi K, Iwanaga Y 他	検査部	Evaluation of FilmArray respiratory panel multiplex polymerase chain reaction assay for detection of pathogens in adult outpatients with acute respiratory tract infection	J Infect Chemother. 2018 Sep ; 24(9) : 734-738.	Original Article
77	Kitamura M, Hisano S, Kurobe Y 他	血液浄化療法部	Membranous Nephropathy with Crescent after ematopoietic Cell Transplantation: A Case Report	Intern Med. 2019 Jan 1 ; 58(1) : 91-96.	Case Reports

小計35件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
78	Higuchi, M., Kuwatsuka, Y., Murota, H. 他	皮膚科・アレルギー科	Clinical and histopathological significance of PD-1 expression in cutaneous lesions of adult T-cell leukemia-lymphoma	Pathol Res Pract. 2019 Jan ; 215(1) : 40-49.	Original Article
79	Kosai K, Kaku N, Uno N 他	検査部	Risk Factors for Acquisition of Fluoroquinolone or Aminoglycoside Resistance in Addition to Carbapenem Resistance in Pseudomonas aeruginosa	Open Microbiol J. 2018 Sep 28 ; 12 : 321-322.	Original Article
80	Izumikawa K	感染制御教育センター	Infection control after and during natural disaster	Acute Med Surg. 2018 Sep 23 ; 6(1) : 5-11.	Review
81	Tajima G, Tokunaga A, Umehara T 他	高度救命救急センター	Early diagnosis using canonical discriminant analysis of innate immune receptor gene expression profiles in a murine infectious or sterile systemic inflammation model	J Trauma Acute Care Surg. 2018 Apr ; 84(4) : 583-589.	Original Article
82	Sato S, Ueki M	臨床研究センター	Fast score test with global null estimation regardless of missing genotypes	PLoS one. 2018 Jul 5 ; 13(7) : e0199692.(オンライン)	Original Article
83	Kodama Y, Hanamura H, Muro T 他	薬剤部	Gene delivery system of pDNA using the blood glycoprotein fetuin	J Drug Target. 2018 Aug ; 26(7) : 604-609.	Original Article
84	Kodama Y, Noda R, Sato K 他	薬剤部	Methotrexate-Coated Complexes of Plasmid DNA and Polyethylenimine for Gene Delivery	Biol Pharm Bull. 2018 Oct ; 41(10) : 1537-1542.	Original Article
85	Munakata C, Fuchigami Y, Hiroishi S 他	薬剤部	Evaluation of miR-122 to Predict High Dose Acetaminophen-Induced Liver Injury in Mice: The Combination Uses of 5-Fluorouracil	Biol Pharm Bull. 2018 Nov ; 41(11) : 1732-1735.	Original Article
86	Munakata C, Fuchigami Y, Makizoe T 他	薬剤部	Effect of pH and Additives on the Compatibility between Vancomycin and Furosemide Injections	Yakugaku Zasshi. 2018 Jun ; 138(6) : 853-860.	Original Article

小計20件

計86件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 ヘルシンキ宣言その他研究等の領域に則した倫理に関する指針等の趣旨に沿った倫理的配慮を 踏ることを目的とし、新規申請に係る手続き・臨床研究実施中及び終了時の手続き等について記 載している。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 長崎大学及び長崎大学病院には以下の指針や規程が存在する。 「長崎大学利益相反マネジメントポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反ポリシー」 「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」 「長崎大学病院利益相反審査委員会規程」 臨床研究利益相反審査委員会は、「利益相反審査自己申告書」により、利益相反の管理を行う。 申告書により利益相反があきらかな場合、利益相反審査委員会は、申告書に添付された臨床研究	

実施計画書に照らし合わせて適正な臨床研究が実施可能かどうかについて審議し、当事者への助言・指導・勧告等を行なう。なお、審議に際し、関係する各倫理委員会又は治験審査委員会の意見を聴取することができる。また、必要に応じて更なる情報収集・調査及びフォローアップを行う。（「長崎大学における臨床研究に係る利益相反管理指針」より）

③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況

年 12 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況

年 19 回

・研修の主な内容

以下の研修等を本院臨床研究センター主催で実施した。

○平成30年度 臨床研究に関する研修会（16回）

内容：臨床研究法について、研究計画書の書き方について、研究不正について、統計学について、データマネジメントなど

○平成30年度 初心者採用者に対する臨床研究研修会（2回）

内容：人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について

○平成30年度 倫理審査委員会・治験審査委員会委員研修会（1回）

内容：委員会委員が知っておくべき知識や審査行う上で重要なポイントについて

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

長崎大学病院では、日本専門医機構に準ずる基本 19 領域のうちリハビリテーション科を除く 18 領域のプログラムがあり、県内外の関連病院、海外の拠点病院と連携して、高度専門医療を研修できるシステムを構築している。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業により発足した医師育成キャリア支援室では、これまで個人で専門医の資格を取るために行っていたことを、大学病院が全面的にサポートし、できるだけ短期間で効率よく専門医資格修得できるよう、専門のコーディネーターによる支援を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	58人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川上 純	リウマチ・膠原病 内科	教授	34年	
川上 純	内分泌・代謝内科	教授	34年	
辻野 彰	脳神経内科	教授	30年	
迎 寛	呼吸器内科	教授	34年	
西野 友哉	腎臓内科	教授	22年	
中尾 一彦	消化器内科	教授	36年	
前村 浩二	循環器内科	教授	33年	
宮崎 泰司	血液内科	教授	33年	
有吉 紅也	感染症内科	教授	33年	
森内 浩幸	小児科	教授	35年	
室田 浩之	皮膚科	教授	23年	
小澤 寛樹	精神神経科	教授	34年	
永安 武	腫瘍外科	教授	32年	

江口 晋	移植・消化器外科	教授	27年	
江石 清行	心臓血管外科	教授	37年	
尾崎 誠	整形外科	教授	28年	
増崎 英明	産婦人科	教授	42年	
北岡 隆	眼科	教授	36年	
金子 賢一	耳鼻咽喉科	准教授	31年	
酒井 英樹	泌尿器科・ 腎移植外科	教授	36年	
松尾 孝之	脳神経外科	教授	30年	
上谷 雅孝	放射線科	教授	38年	
原 哲也	麻酔科	教授	27年	
福岡 順也	病理診断科	教授	24年	
柳原 克紀	検査部	教授	28年	
田崎 修	救急科	教授	29年	
田中 克己	形成外科	教授	35年	
前田 隆浩	総合診療科	教授	34年	
藤原 卓	小児歯科	教授	36年	
吉田 教明	矯正歯科	教授	33年	
朝比奈 泉	歯科口腔外科	教授	36年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「感染管理」（全6回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月29日～12月21日
- ・研修の参加人数 11名（延べ72名）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「褥瘡対策」（全6回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月7日～11月6日
- ・研修の参加人数 16名（延べ107名）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「ストーマケア」（全6回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月15日～11月14日
- ・研修の参加人数 9名（延べ51名）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「排尿ケア」（全5回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月20日～10月18日
- ・研修の参加人数 6名（延べ28名）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「腎不全看護」（全6回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月20日～11月6日
- ・研修の参加人数 2名（延べ11名）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「認知症看護」（全6回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月19日～11月20日
- ・研修の参加人数 7名（延べ42名）

- ・研修の主な内容 看護専門コース「看護倫理」（全5回）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年6月14日～令和元年1月10日
- ・研修の参加人数 14名（延べ71名）

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「重症心不全看護」(全6回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月27日～11月28日 ・研修の参加人数 31名(延べ183名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「移植医療と移植コーディネーター」(全5回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月5日～12月4日 ・研修の参加人数 8名(延べ52名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「周手術期看護」(全6回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月14日～11月8日 ・研修の参加人数 6名(延べ41名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「急変対応」(全2回) ・研修の期間・実施回数 平成30年9月8日・10月13日/平成30年11月3日・12月1日 ・研修の参加人数 25名(延べ51名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「退院支援」(全4回) ・研修の期間・実施回数 平成30年7月18日～10月17日 ・研修の参加人数 14名(延べ56名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「がん化学療法看護」 ・研修の期間・実施回数 平成30年10月27日 ・研修の参加人数 15名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「緩和ケア」(全2回) ・研修の期間・実施回数 平成30年8月4日/9月15日 ・研修の参加人数 15名(延べ30名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「糖尿病ケア」(全7回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月12日～12月11日 ・研修の参加人数 6名(延べ39名)

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「がん放射線療法看護」 ・研修の期間・実施回数 平成30年7月28日 ・研修の参加人数 20名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「災害急性期看護」(全5回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月25日～10月22日 ・研修の参加人数 8名(延べ41名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「外傷初期看護」 ・研修の期間・実施回数 平成30年8月18日 ・研修の参加人数 3名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 フィジカルアセスメント講習会 ・研修の期間・実施回数 毎年5月～3月：計12回 ・研修の参加人数 24名(長崎県下薬局および病院勤務の薬剤師)
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況(任意)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 (1) 新採用薬剤師研修プログラム、(2) 薬剤管理指導業務研修、(3) 休日TDM測定業務研修 ・研修の期間・実施回数 (1) 6ヶ月(調剤業務48回、注射薬室業務30回、抗癌剤調製6回、麻薬業務2回)、 (2) 6ヶ月、週2時間 (3) 2ヶ月間、計3回 ・研修の参加人数 (1) (2) 7名(勤務1年目の薬剤師)、(3) 9名(勤務2年目の薬剤師)
<p>③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「外傷初期看護」 ・研修の期間・実施回数 平成30年8月18日 ・研修の参加人数 2名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「災害急性期看護」(全5回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月25日～10月22日 ・研修の参加人数 5名(延べ25名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「緩和ケア」(全2回) ・研修の期間・実施回数 平成30年8月4日/9月15日 ・研修の参加人数 3名(延べ6名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「がん化学療法看護」 ・研修の期間・実施回数 平成30年10月27日 ・研修の参加人数 8名(延べ43名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「退院支援」(全4回) ・研修の期間・実施回数 平成30年7月18日～10月17日 ・研修の参加人数 13名(延べ52名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 看護専門コース「糖尿病ケア」(全7回) ・研修の期間・実施回数 平成30年6月12日～12月11日 ・研修の参加人数 3名(延べ18名)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 PNSシャドーイング研修 ・研修の期間・実施回数 平成30年8月28日/29日 ・研修の参加人数 4名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 くすのき塾「もう迷わない！知って得する褥瘡ケアの極意」 ・研修の期間・実施回数 平成30年12月15日 ・研修の参加人数 8名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 くすのき塾「在宅での呼吸ケア～きいて・みて・さわって！～」 ・研修の期間・実施回数 平成30年10月14日 ・研修の参加人数 21名

<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 くすのき塾「最新!がん化学療法の基礎知識」 ・研修の期間・実施回数 平成30年11月17日 ・研修の参加人数 6名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 在宅における緊急度判断 ・研修の期間・実施回数 平成30年7月14日 ・研修の参加人数 7名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 患者急変の前兆に気づく ・研修の期間・実施回数 平成30年9月1日 ・研修の参加人数 9名
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 在宅における緊急度判断 ・研修の期間・実施回数 平成30年12月15日 ・研修の参加人数 5名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。



(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

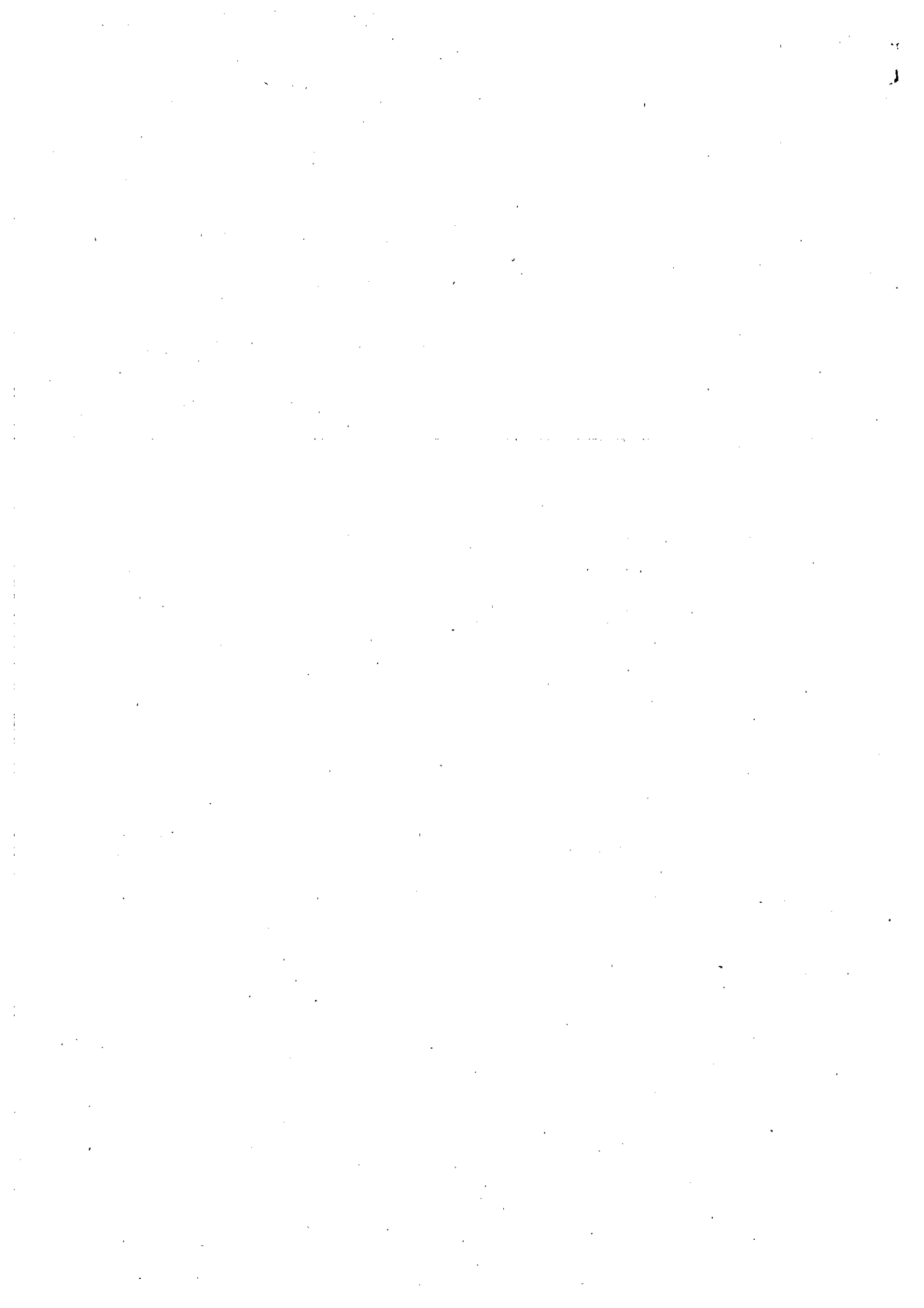
計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 中尾 一彦
管理担当者氏名	放射線部長 上谷 雅孝 感染制御教育センター長 泉川 公一 総務課長 上田 祐介 医事課長 吉井 孝博 薬剤部長 佐々木 均 ME機器センター長 栗原 慎太郎 人事企画課長 森田 浩司 医療安全課長 梅嶋 敬三

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	※	
		看護記録	※	
		検査所見記録	※	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	※	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	※	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事企画課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課、医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
			入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全課
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全課		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全課		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療安全課 感染制御教育センター
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全課 感染制御教育センター
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全課 感染制御教育センター
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全課 感染制御教育センター
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全課
		職員研修の実施状況	医療安全課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全課 薬剤部 ME機器センター
		管理者が有する権限に関する状況	総務課、人事企画課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。



(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状	
閲覧責任者氏名	事務部長 熊谷 圭司		
閲覧担当者氏名	総務課長 上田 祐介		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要			
長崎大学広報戦略本部において、「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、法人文書開示請求手続きを行っている。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	3	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	件
	地方公共団体	延	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。



規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○医療安全管理に関する基本的考え方○医療安全管理委員会及びその他の組織に関する基本的事項○医療安全管理のための職員研修に関する基本方針○事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針○医療事故発生時の対応に関する基本方針○医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針○患者等からの相談への対応に関する基本方針○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <ul style="list-style-type: none">○医療安全管理委員会 (月1回開催)○リスクマネージャー会議 (月1回開催) <p>・ 開催状況：年28回 (臨時開催4回含む。)</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">○医療安全管理委員会 (月1回開催)○リスクマネージャー会議 (月1回開催)	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の内容 (すべて)：</p> <p>①平成30年6月26日 第1回医療安全研修会 「転倒転落について～転倒転落による骨折等を減少させる取り組み (履物編)～」安全管理部 看護師GRM 江頭あや子 「院内における睡眠薬の適正使用に関する取り組み ～入院患者からの不眠訴え時の対応フロー導入に向けて～」 安全管理部 薬剤師GRM 中川博雄</p> <p>②平成30年10月25日 第2回医療安全研修会 「医療安全における患者対応：医療メディエーション」 国立病院機構長崎川棚医療センター 院長 宮下光世 先生</p> <p>③平成30年12月4日 第3回医療安全研修会 「医療安全対策に関する変更点について」 安全管理部 副部長 栗原慎太郎 医師</p>	

④平成31年1月29日 第4回医療安全研修会

「医療ガスの性質について」

福岡酸素(株) 細井治之 先生

「がん薬物療法および院内製剤の運用上の注意点」

薬剤部 能勢誠一 先生

「報告書の見直しについて」

安全管理部 副部長 栗原慎太郎 医師

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - インシデントレポート報告システムの改良
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - 医療安全ポケットマニュアルの改訂
 - 安全管理部カンファレンス (週1回実施)

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>1) 院内感染対策委員会の設置、2) 職員研修の実施、3) 病院感染発生時の対応、4) 院内感染対策マニュアルの策定、5) 院内感染防止に関する患者への情報提供と説明、6) その他の病院における院内感染対策の推進</p> <p>以上について明記。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>耐性菌の発生状況、手指衛生遵守状況、蓄尿率、公開ICTラウンド等の報告、承認を行う。 委員長：病院長、他委員数13名、計14名全員の出席をもって開催される。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・研修の内容（すべて）：</p> <p>平成30年6月29日 第1回院内感染対策講習会 「感染症患者さんを救うために、みんなのできること～抗菌薬適正使用支援チーム（AST）誕生のあらまし～」 感染制御教育センター 河野圭 医師</p> <p>平成30年8月28日 第2回院内感染対策講習会 「外国患者の受け入れの実際と問題点～感染対策も含めて～」 国立国際医療研究センター 国際診療部 医療コーディネーター 堀成美 看護師</p> <p>平成30年12月4日 第3回院内感染対策講習会 「これって正しい？微生物検査と検体採取」 検査部 碓 比呂子 検査技師</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内で検出された耐性菌、無菌検体からの微生物検出状況は毎朝の会議にて微生物検査室から報告がある。インフルエンザやノロウイルス、結核など伝染性疾患に関する塗抹情報や抗原検出状況はリアルタイムに報告がある。以上のうち、院内感染対策上重要な微生物が検出された場合はその都度検出された部署へ赴き、実際の感染対策を指導している。それらは記録として保存している。</p> <p>また、週に1回は病棟、外来、中央診療棟などを多職種からなるICTチームでラウンドし、感染対</p>	

策の現状の把握とon the job trainingを実践している。

また、広域抗菌薬・抗真菌薬使用患者を土曜、休日以外の連日、ピックアップし、薬剤師を中心に医師・看護師・検査技師を交えたASTチームでカンファレンスを行い、主治医にカルテ上でのコメントを通じて抗菌薬適正使用支援（ASP）活動を行っている。

なお、本活動の一環として、連日、微生物検査室からの報告を用いて血液培養ラウンドを行い、感染症診療支援、抗菌薬適正使用支援を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る
措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>「院内における睡眠薬の適正使用に関する取り組み～入院患者からの不眠訴え時の対応フロー導入に向けて～」(講師：安全管理部薬剤師GRM)</p> <p>実施日：平成30年6月26日、イントラネット動画研修、受講人員： 2221 人 (95 %)</p> <p>「がん薬物療法および院内製剤の運用上の注意点」(講師：薬剤部製剤室室長)</p> <p>実施日：平成31年1月29日、イントラネット動画研修、受講人員： 1169 人 (50 %)</p>	
② 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有・無)</p> <p>・手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医薬品の採用・購入に関する事項2. 医薬品の管理に関する事項 (購入～薬剤部内の管理)3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項4. 患者に対する服薬指導に関する事項5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い6. 病棟、中央診療部門、外来における医薬品の管理7. 他施設 (病院等、薬局等) との連携に関する事項8. 輸血・血液管理担当部門と責任者の設置等9. 薬剤投与のための機器使用10. 放射性医薬品の管理11. 臨床検査薬の管理12. 造影剤の管理、使用13. 院内製剤の取り扱いについて14. 未承認新規医薬品の使用及び医薬品医療機器等の適応外使用について15. 当該手順書の順守状況の確認 <p>実施状況：年 1 回順守状況のチェックを各部署で行い、その内容を医薬品安全管理責任者がすべて確認している。問題があれば改善のための指導を行う。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)：</p> <p>シロリムス、リツキシマブの適応外使用 (特発性多中心性キャッスルマン病に対して)</p>	

- ・その他の改善のための方策の主な内容：

【収集方法】

未承認等の医薬品の使用情報について、未承認新規医薬品に関しては使用申出の担当部署である医薬品医療機器等安全管理専門委員会（以下、薬機専）で把握している。その他の適応外使用等、未承認等の使用については、薬剤部において、薬剤交付時の鑑査や入院患者に対する病棟薬剤業務において把握したものを記録している他、診療科からの申請・報告により薬機専でも把握している。

医薬品の採用時には、添付文書他、IF、文献等を収集している。添付文書等の改訂については、各メーカーのMRから連絡、DSUなどの発信について確認を行い、最新の添付文書等を入手するようにしている。

【周知方法】

未承認新規医薬品に関しては担当部署である薬機専の委員長より医療安全管理委員会において定期的に報告している。その他の未承認等に関しても、把握した件数を医療安全管理委員会へ報告している。

改訂された情報の全てを、薬剤部各部署へ文書で通知を行っている。また、病棟、診療科（診療科長、医局長）、中央診療部（部長、副部長等）に対しては、緊急安全性情報、安全性速報、DSU、医薬品医療機器等安全性情報、DI newsの情報発信を行っている。緊急安全性情報、安全性速報は、当該医薬品を使用している医師に電子カルテのコミュニケーション機能、面談による文書交付にて周知を図っている。

また、薬剤部イントラネットには、薬剤部より発信した医薬品の安全使用に関わる情報の記録を、全て確認できるように掲載している。院内医薬品情報検索システム（DICS）には改訂された添付文書の情報が更新されるまで、新しい添付文書のPDFファイルを掲載している。

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年24回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 新しい医療機器の導入時の研修 特定機能病院における定期研修有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合が発生した場合の対応に関する事項 使用に関して特に法令上遵守すべき事項など	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る計画の策定 (有・無)機器ごとの保守点検の主な内容： 人工呼吸器 : 外観点検、性能・機能点検など 輸液ポンプ : 外観点検、性能・機能点検など シリンジポンプ : 外観点検、性能・機能点検など 経腸栄養ポンプ : 外観点検、性能・機能点検など 除細動器 : 外観点検、性能・機能点検など 閉鎖式保育器 : 外観点検、性能・機能点検など 人工心肺装置 : 外観点検、性能・機能点検など IABP : 外観点検、性能・機能点検など 経皮的補助循環装置 : 外観点検、性能・機能点検など フットポンプ : 外観点検、性能・機能点検など 体外式ペースメーカー : 外観点検、性能・機能点検など 補助人工心臓駆動装置 : 外観点検、性能・機能点検など 麻酔器 : 外観点検、性能・機能点検など 電気手術器 : 外観点検、性能・機能点検など 内視鏡 : 外観点検、性能・機能点検など 内視鏡装置 : 外観点検、性能・機能点検など 直線加速装置 : 外観点検、性能・機能点検など 診療用放射線照射装置 : 外観点検、性能・機能点検など 放射線関連装置 : 外観点検、性能・機能点検など 心電計 : 外観点検、性能・機能点検など 脳波計 : 外観点検、性能・機能点検など 超音波診断装置 : 外観点検、性能・機能点検など AED : 外観点検、性能・機能点検など 血液浄化装置 : 外観点検、性能・機能点検など 透析液作製関連装置 : 外観点検、性能・機能点検など 手術支援ロボットシステム : 外観点検、性能・機能点検など 超音波手術器 : 外観点検、性能・機能点検など 歯科関連機器 : 外観点検、性能・機能点検など	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : 無	

その他の改善のための方策の主な内容：

日本医療機能評価機構やPMDA、製造販売企業などからの情報を収集し、医療安全管理委員会や安全管理部、リスクマネージャー会議へ報告すると共に、RMニュースとして各リスクマネージャーへメールで配信し、リスクマネージャーから所属スタッフへ周知を行っている。
機器の取扱説明書や添付文書を院内どこからでも閲覧可能なシステムを構築している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 9 条の 2 0 の 2 第 1 項第 1 号から第 1 3 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師)・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副院長は、医療安全管理部門の長を兼任し、医薬品安全管理責任者および医療機器安全管理責任者は、医療安全に関する委員会（医療安全管理委員会）の構成員であり、各委員会の報告を医療安全管理委員会において実施している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (12名)
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>①<u>医薬品情報資料の収集、整理、保管及び情報の加工と専門的評価</u></p> <ul style="list-style-type: none">1) インターネットを利用した情報収集2) 学術雑誌等よりの情報収集3) 製薬会社の医薬情報担当者 (MR ; medical representatives) よりの情報収集4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者よりの情報収集5) 資料の整理・保管・管理6) 書籍・雑誌等の購入 <p>②<u>医薬品に関する情報の伝達</u></p> <ul style="list-style-type: none">1) 医薬品集の作製、改訂2) 全診療科・病棟・中央診療部への定期的な情報伝達3) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者への情報提供4) 病棟薬剤師業務担当者・薬剤管理指導業務担当者との情報共有5) 他の病院薬局への情報提供 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認新規医薬品に関しては、医薬品安全管理責任者が委員長を務める医薬品医療機器等安全管理専門委員会（以下、薬機専）において、未承認新規医薬品等評価委員会の意見を参考に申出の受付と使用の可否等を決定する業務を担当している。</p>	

その他の未承認等の医薬品の使用状況については薬剤部に使用状況の把握と必要に応じた提案等の業務を行わせている他、薬機専でも把握している。

・担当者の指名の有無 有 無

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部，職種 薬剤部長) (所属：安全管理部，職種 教授)

(所属：循環器内科，職種 教授) (所属：泌尿器科，職種 教授)

(所属：移植消化器外科，職種 教授) (所属：内分泌代謝内科，職種 教授)

(所属：顎・口腔再生外科学，職種 教授) (所属：感染制御教育センター，職種 教授)

(所属：小児科，職種 教授) (所属：安全管理部，職種 副部長)

(所属：看護部，職種 看護部長) (所属：事務部，職種 事務部長)

(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長) (所属：ME 機器センター，職種 副センター長)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有 無

・医療の担い手が説明を行う際と同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 有 無

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：
説明に関する責任者は、医療安全部門の GRM が担当し、説明に関するガイドラインを作成し、診療録管理を担当する委員会である病歴委員会の委員となり、診療録の質的管理を実施する段階で、説明と同意に関する監査項目を確認し、診療部門へフィードバックする。また、説明・同意において、医師以外の職種の同席や説明記載についても推進する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録及び退院時要約の記載内容について監査及び報告、法令に基づく診療録の管理、診療記録の提供

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・所属職員：専従 (5) 名、専任 () 名、兼任 (13) 名

うち医師・歯科医師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (5) 名

うち薬剤師：専従 (1) 名、専任 () 名、兼任 (1) 名

うち看護師：専従 (2) 名、専任 () 名、兼任 (2) 名

(注) 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- 医療事故防止対策マニュアルの改訂
- 安全管理部部員等による院内巡視
- インシデントレポートの分析
- 死亡事例の把握・検証
- 安全管理部カンファレンス (週 1 回実施)
- 医療安全研修会について、e-ラーニングにおいてテストを実施し、点数によって評価している

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数 (9 件) 及び許可件数 (9 件)
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無 (有・無)
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有・無)
- ・活動の主な内容：高難度新規医療技術評価委員会と連携し、高難度新規医療技術の導入に係る申請に対する実施の可否についての判定及び実施後のモニタリングを行っている。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有・無)
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有・無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (104 件)、及び許可件数 (104 件)
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有・無)
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有・無)
- ・活動の主な内容：
医薬品医療機器等安全管理専門委員会が、医療安全管理委員会と連携し、次の各号に掲げる事項について審議している。

- (1) 医薬品医療機器等の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び改定に関すること。
- (2) 従業者に対する医薬品医療機器等の安全使用のための研修に関すること。
- (3) 医薬品医療機器等の安全使用のための手順書に基づく業務に関すること。
- (4) 医薬品医療機器等の安全使用のため必要となる情報の収集その他の医薬品の安全
- (5) 本院で使用したことのない医薬品又は高度管理医療機器であって、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和35年法律第145号）（以下「医薬品医療機器等法」という。）における承認又は認証を受けていないもの（以下「未承認新規医薬品等」という。）を用いた医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。
- (6) 医薬品医療機器等法における承認又は認証を受けている医薬品又は高度管理医療機器について、本院において、承認若しくは認証と異なる使用又は禁忌に該当する使用を伴う医療を提供する場合について、使用条件を定め、使用の適否等を決定する。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 319件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 31件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - 医療事故防止対策マニュアルの改訂
 - 安全管理部部員等による院内巡視
 - インシデントレポートの分析
 - 死亡事例の把握・検証
 - 安全管理部カンファレンス（週1回実施）

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：香川大学医学部附属病院）・無）
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：福井大学医学部附属病院）・無）
- ・ 技術的助言の実施状況
特に改善を求めるような指摘事項はなかった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
総合患者支援部に患者相談室を設置し、患者家族等からの医学的な質問、医療安全に係る相談等、様々な相談を患者相談窓口にて一元的に対応し、必要に応じて、助言、情報提供等を行いながら患者家族等を支援している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

①平成30年6月26日 第1回医療安全研修会

「転倒転落について～転倒転落による骨折等を減少させる取り組み（履物編）～」

安全管理部 看護師GRM 江頭あや子

「院内における睡眠薬の適正使用に関する取り組み

～入院患者からの不眠訴え時の対応フロー導入に向けて～」

安全管理部 薬剤師GRM 中川博雄

②平成30年10月25日 第2回医療安全研修会

「医療安全における患者対応：医療メデイエーション」

国立病院機構長崎川棚医療センター 院長 宮下光世 先生

③平成30年12月4日 第3回医療安全研修会

「医療安全対策に関する変更点について」

安全管理部 副部長 栗原慎太郎 医師

④平成31年1月29日 第4回医療安全研修会

「医療ガスの性質について」

福岡酸素（株） 細井治之 先生

「がん薬物療法および院内製剤の運用上の注意点」

薬剤部 能勢誠一 先生

「報告書の見直しについて」

安全管理部 副部長 栗原慎太郎 医師

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者については、すでに医療安全に関する講習を受講している。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)



規則第 7 条の 2 第 1 項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none">・ 基準の主な内容 【長崎大学病院長選考規程より抜粋】 第3条 病院長となることのできる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。 (1) 医療法(昭和23年法律第205号)第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者 (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 組織管理能力等の長崎大学病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有する者・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 公表の方法 ホームページにて公表。

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 公表の方法 ホームページにて公表。	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
下川 功	理事	○	学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
塚元 和弘	理事		学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
永安 武	医学部		役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
澤瀬 隆	歯学部		役職指定	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
尾崎 誠	病院		病院運営会議選出委員	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
森崎 正幸	長崎県医師会		学外の有識者	有 <input checked="" type="radio"/> 無
宮口 厳	長崎県歯科医師会		学外の有識者	有 <input checked="" type="radio"/> 無
沢水 清明	長崎県福祉保健部		学外の有識者	有 <input checked="" type="radio"/> 無
澤井 照光	医学部保健学科		学長が必要と認めた者	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

規則第 9 条の 2 3 第 1 項及び第 2 項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無		
<p>・合議体の主要な審議内容 (審議事項) 【長崎大学病院運営会議規程より抜粋】 第2条 運営会議は、次に掲げる事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営・運営方針に関すること。 (2) 中期目標・中期計画に関すること。 (3) 教育・研究活動に関すること。 (4) 規程等の制定及び改廃に関すること。 (5) 教育研究組織に関する事項 (6) 予算及び決算に関する事項 (7) 教員の採用及び昇任に関する事項 (8) 教員の再任に関する事項 (9) その他病院の管理運営に関する重要な事項 <p>・審議の概要の従業者への周知状況 院内HP (イントラネット) に病院運営会議の議事要旨を掲載している。また、診療科長等会議、看護部運営会議で会議の概要報告を行うとともに、事務部においては、課内連絡会で議題内容の報告をするなどして情報共有を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・公表の方法 ホームページにて公表。 ・外部有識者からの意見聴取の有無 ((有)・無)</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中尾 一彦	○	医師	理事 (病院担当) ・ 病院長
増崎 英明		医師	学長特別補佐 (病院 改革推進担当)
尾崎 誠		医師	副病院長「総務」
松尾 孝之		医師	副病院長「安全」

(様式第 6-3)

酒井 英樹		医師	副病院長「診療」
西野 友哉		医師	副病院長「経営」
迎 寛		医師	副病院長「人事」
澤瀬 隆		歯科医師	副病院長「歯科統括」
貞方 三枝子		看護師	副病院長「看護統括」
熊谷 圭司		事務職員	副病院長「事務統括」
浜田 久之		医師	病院長補佐「教育・ 広報」
山本 弘史		薬剤師	病院長補佐「研究」
泉川 公一		医師	病院長補佐「国際」
栗原 慎太郎		医師	病院長補佐「安全」
阿比留 教生		医師	病院長補佐「施設」
山下 利佳		歯科医師	病院長補佐「福利厚 生」
川崎 浩二		歯科医師	病院長補佐「地域連 携」
松本 武浩		医師	病院長補佐「MSC・ 医療情報」
田浦 直太		医師	病院長補佐「病床管 理・診療情報管理」
田崎 修		医師	高度救命救急センタ ー
佐々木 均		薬剤師	薬剤部長
福田 徹		診療放射線技師	医療技術部長
永岡 亜矢子		外部有識者（弁護士）	病院顧問

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

- ・ 公表の方法
大学ホームページにて公表。

- ・ 規程の主な内容

【長崎大学病院規則より抜粋】

(病院長)

第3条 本院に、病院長を置く。

2 病院長は、病院の管理運営をつかさどり、所属職員を統括する。

【長崎大学会計規則より抜粋】

(予算責任者)

第10条 予算管理単位に予算責任者を置き、部局長をもって充てる。

なお、人事権について、「副病院長等の選考に関する申合せ」により、各種メディカルスタッフの選考基準が定められており、病院長が指名することとなっているが、一部、医学部で選考された講座の教授を診療科長とするなど「充て職」が存在するため、医学部と調整を行い、対応を検討する予定である。

- ・ 管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割

病院長の職務を補佐する者として副病院長を置き、病院長の職務のうち特定事項の職務を補佐する者として病院長補佐を置いている。また、本院の管理運営に関し、病院長に助言等を行う者として病院長特別補佐を置き、病院長の諮問に応じ意見を具申する役割として、病院顧問を置いている。

さらに、病院長の諮問機関として、運営戦略部及び外部有識者 (経営戦略アドバイザー) を含む経営戦略部を設置し、多職種からなるメンバーで会議を行い、企画立案を行っている。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

(人事)

副病院長の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長 (各センター長、機構長及び各室長を含む。)、薬剤部長、看護部長及び事務部長のうちから病院長が推薦し学長が選考するもの、病院長補佐の選考は、各診療部門の診療部門長、各診療科の診療科長、各治療室の治療室長、中央診療施設の各部長 (各センター長、機構長及び各室長を含む。)) 及び薬剤部長のうちから病院長が指名するものとしている。

(研修)

全国病院長会議等が主催する分野別、職階別の各種研修会に執行部職員を積極的に参加させている。また、日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修にも毎年対象者を参加させている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の活動を行っている。</p> <p>(1) 医療安全管理に関する責任者，医薬品安全管理に関する責任者，医療機器安全管理に関する責任者，安全管理部及び医療安全管理委員会が行う業務の状況について病院長から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 上記に掲げる事項について，その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：病院ホームページにて公表。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学病院 医療環境安全部 安全管理部門長	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
川添 志	山下・川添総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有 (無)	1
飯田 由紀子			医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2
長谷川 ゆり	長崎大学病院 産科婦人科 講師		その他学長が必要と認めた者	(有)・無	3

(様式第 6-3)

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

学外の弁護士に病院顧問を委嘱し、必要に応じて、本院運営に係る法的な助言を得ている。また、病院運営会議（毎週開催）に学長指名の理事及び学外者（弁護士）が構成員として出席している。さらに、役員会や経営協議会（外部委員を含む）において、病院の決算状況等の審議がなされており、毎年監事監査を受審している。

- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 無 ）
- ・ 公表の方法 大学ホームページにて公表

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 役員会（病院長が理事として出席）及び経営協議会で病院決算状況等について審議を行っていること、病院運営会議（毎週開催）に学長指名の理事が構成員として出席していること、並びに、毎年、監事監査を受審していることから、業務の監督体制は整備されている。・ 会議体の実施状況 （平成30年度：役員会 年17回、経営協議会 年 5回、病院運営会議 年 35回 ）・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無） （平成30年度：役員会 年 10回、経営協議会 年 4回、病院運営会議 年 35回 ）・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）・ 公表の方法 大学ホームページにて公表。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none">院内 HP (イントラネット) に掲載している。院内講習会にて周知している。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人 日本医療機能評価機構、「病院機能評価：一般病院3」2018年11月 一般社団法人 Medical Excellence JAPAN、「ジャパン国際ホスピタルズ」2017年6月 公益財団法人 日本適合性認定協会、「ISO15189 (検査部・細胞療法部)」2017年3月 特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構、2018年3月 アジア太平洋地域倫理委員会フォーラム、2018年11月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・情報発信の方法、内容等の概要 地域や患者の医療機関の選択に資するため、病院ホームページで各診療科の特徴や対象とする疾患について、情報発信している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○複数診療科の医師及び他職種の医療スタッフを構成員としたチーム（精神科リエゾンチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、呼吸ケアチーム、外来緩和ケアチーム、糖尿病ケアサポートチーム、透析予防診療チーム、排尿ケアチーム）を設置し、チーム医療を実践している。 ○周術期口腔管理センターを設置し、術後の周術期の口腔ケアだけでなく保存、補綴も含め必要な歯科治療全てを扱い、医科歯科連携医療を推進している。	

